
両替機

MC11D

取扱説明書

第4版:2022年11月 2日



東亞電子工業株式会社

(本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。)

-目次-

安全上のご注意	3
1 はじめに	7
2 各部の名称	7
2-1 全体図	7
2-2 内部図	8
2-3 寸法図	9
3 設置	11
3-1 付属品	11
3-2 設置方法	12
3-3 防盗部材	18
3-4 外部パルス入力	21
3-5 盗難および転倒防止	22
4 初期設定	23
5 両替動作	25
6 外部パルス	26
6-1 外部パルス入力の払い出し動作	26
6-2 外部パルスについて	26
7 モード	28
7-1 確認モード	28
7-2 メンテナンスマード	30
8 日常のお手入れ	36
8-1 紙幣識別機の清掃	36
8-2 紙幣の回収方法	40
8-3 硬貨払出機の清掃	41
8-4 硬貨の補充	44
8-5 硬貨払い出し機の詰まり硬貨除去	45
9 警報ブザー	49
9-1 警報ブザーの動作	49
9-2 警報ブザーの電池	50
10 エラー表示一覧	52
11 製品仕様	53
12 保証規定	54

安全上のご注意

ーかならずお守りくださいー

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい事を、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が損傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



記号は注意を促す表示です。



記号はしてはいけない「禁止」表示で、記号内に具体的な注意内容図が描かれています。

左図は「分解禁止」指示です。



記号は必ず実行していただきたい表示で、記号内に具体的な指示図が描かれています。

左図は「電源プラグを抜く」指示です。

警告



指定の電源電圧(AC100V)以外で使用しないでください。
故障や感電、発熱、火災の原因になります。

AC100V 以外禁止



直射日光の当たる場所や、冷暖房器具の近くで著しく温度が変化する場所には取り付けないでください。
故障や感電、発熱、火災の原因になります。

禁止



本機の上に花びん、植木鉢、水の入ったコップなどを置かないでください。
水がこぼれて中に入った場合、感電、発熱、火災の原因になります。

禁止



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

濡れ手禁止



電源プラグを抜く そのまま使用すると火災、感電の危険があります。

本機の内部に異物や水などが入ったり、本機を落としたりしたらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社にご連絡ください。



電源プラグを抜く そして販売会社にご連絡ください。

故障や発煙、変な臭い、音がした状態で、そのまま使用すると火災、感電の危険があります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



確認

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。



電気工事は、必ず電気工事登録業者に依頼してください。
ご自分で配線工事をされ不備があると、漏電や火災の原因になります。

専門業者へ



アース工事は、電気設備基準など関連する法令、規則などに従って必ず「法的有資格者」による D 種接地工事を行ってください。

アース線接続



本機を分解しないでください。
内部に高電圧部分があり、感電の恐れがあります。

分解禁止



雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。
感電の危険があります。

接触禁止



電源コードや接続ケーブルを破損するようなことはしないでください。
ショート、断線により火災、感電の危険があります。

禁止

⚠ 注意



移動させる場合は接続ケーブルなどをはずしてください。
ケーブルや本機が損傷し火災、感電の原因となります。

取り外し確認



腐食性ガスの存在する場所に設置し、使用しないでください。
また、埃や空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)が含まれている環境へも設置しないでください。

禁止



埃や湿気、油煙、湯気が当たるところには取り付けないでください。
絶縁が低下し、感電や発熱、火災の原因になります。

禁止



本機の上に重い物を置かないでください。
転倒、落下などが怪我の原因になります。

禁止



長時間ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。
コードが断線、ショートし、火災、感電の原因となることがあります。

禁止



電源が入っている状態で、内部の配線を引き抜かないでください。
故障の原因になります。

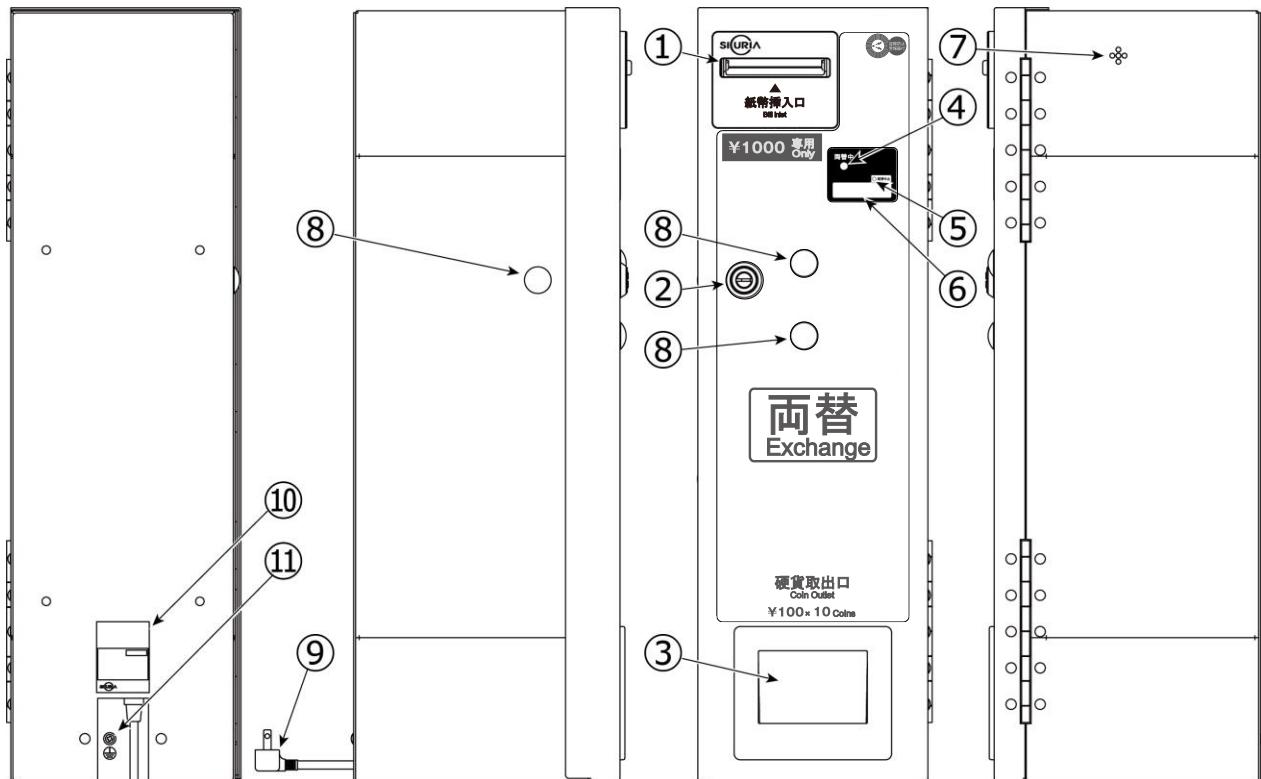
禁止

1 はじめに

MC11D は、1000 円紙幣を 100 円硬貨に両替する機能を持つ両替機です。

2 各部の名称

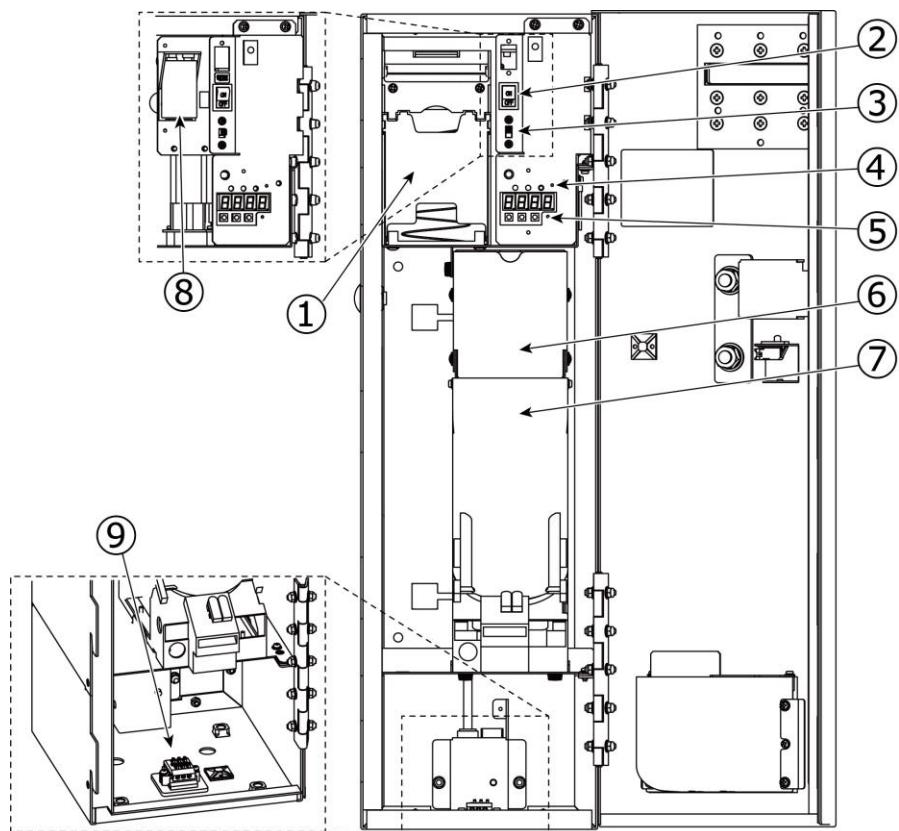
2-1 全体図



	名称	機能
①	紙幣挿入口	1000 円紙幣を裏表 4 方向で挿入できます。
②	扉錠	前面扉を開閉するための錠前です。
③	硬貨取り出し口	両替された硬貨が出てきます。
④	両替中ランプ	両替が可能な状態であれば点灯します。
⑤	両替中止ランプ	両替が出来ない状態であれば点灯します。
⑥	4 行数値表示器	両替金額、エラーなどを表示します。

	名称	機能
⑦	警報ブザー穴	警報ブザーの音が鳴ります。
⑧	防盗部材取り付け穴	防盗部材を取り付ける場合に使用します。
⑨	電源プラグ	本機の電源供給用です。(AC100V 用)
⑩	定格銘板	製品の型式、製造No.、電気定格などを記載しています。
⑪	アース端子	アース線の接続部です。

2-2 内部図



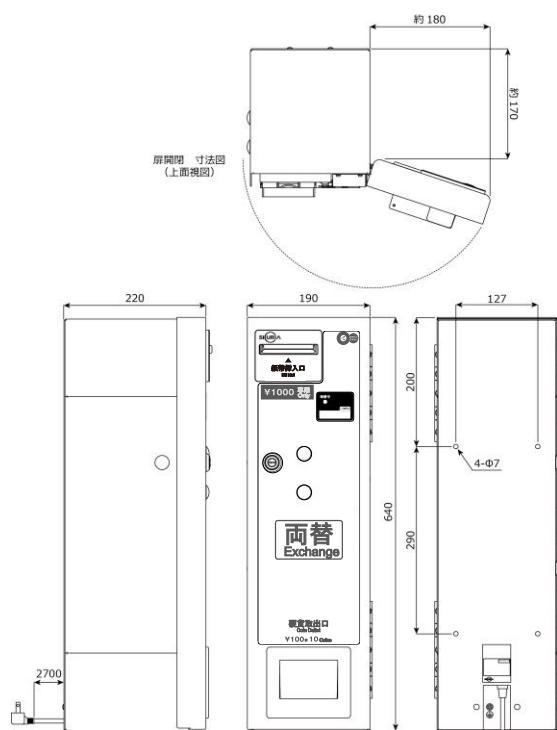
	名称	機能
①	紙幣識別機	紙幣を取り込み、収納します。
②	電源スイッチ	本機の電源を ON/OFF します。
③	警報ブザー設定スイッチ	警報ブザーを ON/OFF します。
④	電池残量チェックスイッチ	警報ブザー用電池の残量を確認します。
⑤	設定スイッチ	各種設定などに使用します。 左から MODE スイッチ、UP スイッチ、SET スイッチとなります。

	名称	機能
⑥	硬貨補充口	両替用硬貨を補充する際に、ここから硬貨を投入します。
⑦	硬貨払い出し機	100 円硬貨を払い出します。
⑧	電池ボックス	警報ブザー用電池を取り付けます。
⑨	外部パルス入力端子台	外部パルス入力電線を接続します。 左から A 接点、B 接点、COM となります。

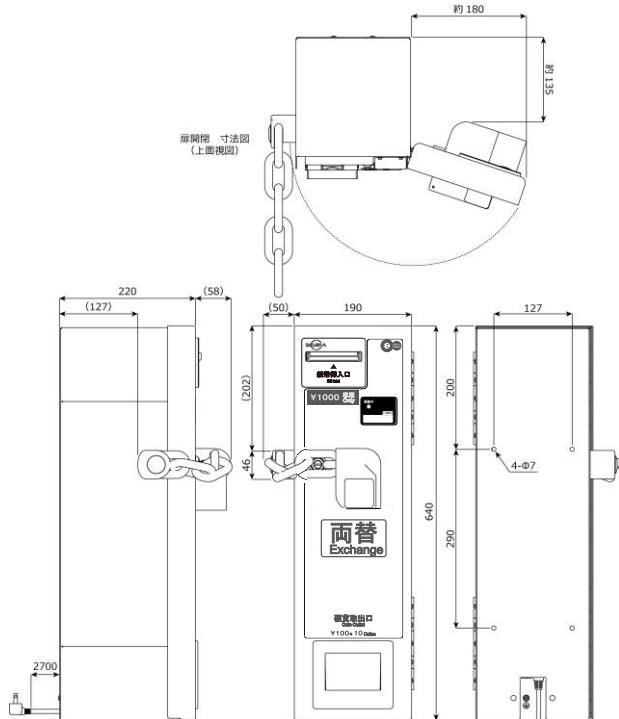
2-3 寸法図

(単位:mm)

●本体(防盜部材なし)



●本体(防盜部材あり)※1

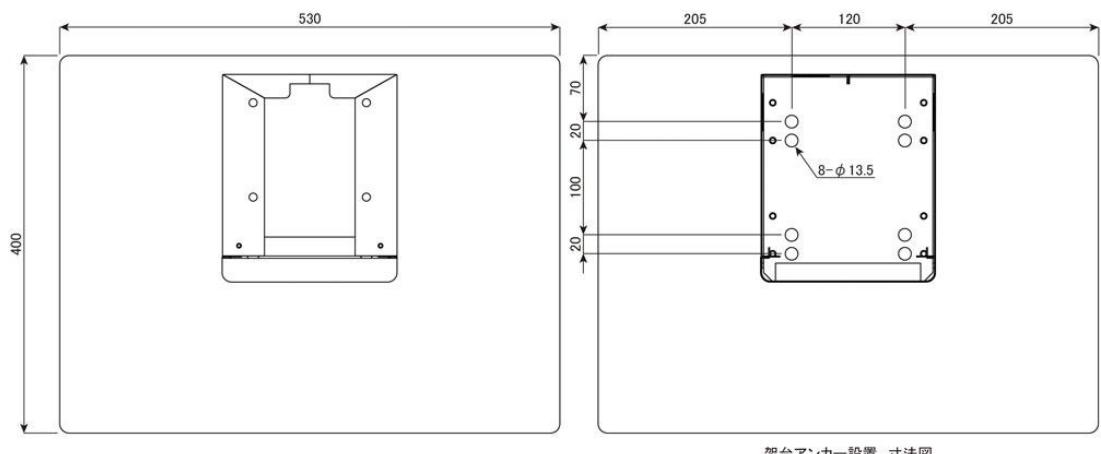


※1 適合品以外の防盜部材を取り付けた場合は寸法が異なります。

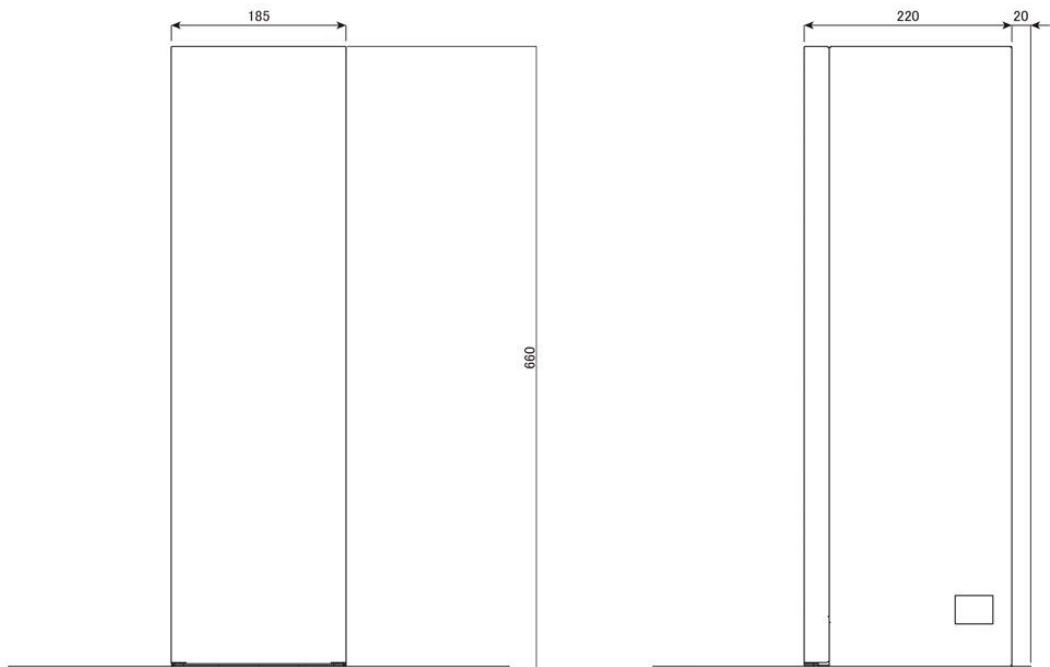
適合品

- ・株式会社多奈川商店製 13シリーズ(合金)左鍵用 0221(46-5[32cm])

●架台、台座



架台アンカー設置寸法図
(上面視図)



3 設置

3-1 付属品

下記の付属品が同梱されている事を確認してください。

●本体

- ・ 扇錠用鍵 ×2
- ・ 警報ブザー用電池 ×1
- ・ 結束バンド ×1

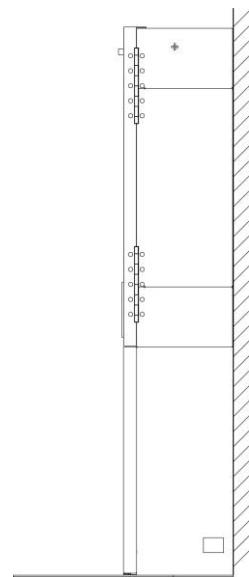
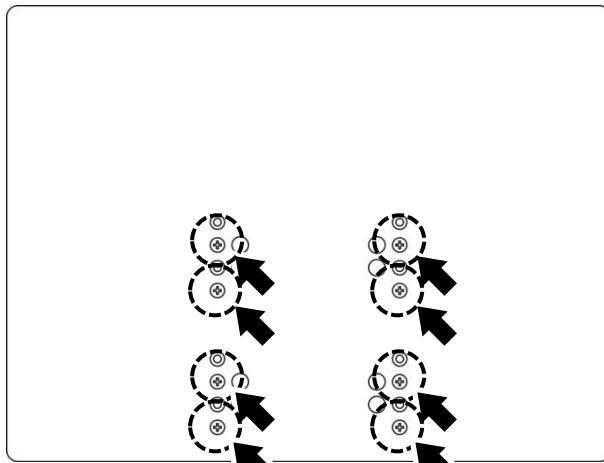
●架台

- ・ アンカーボルト(M10×60 C-1060) ×4
- ・ 本体固定用ネジ 1(M8×15 P3 アプセット) ×4
- ・ 本体固定用ネジ 2(M4×10 P3 ナベ) ×2
- ・ 台座取り付け用ネジ(M6×10 皿) ×8

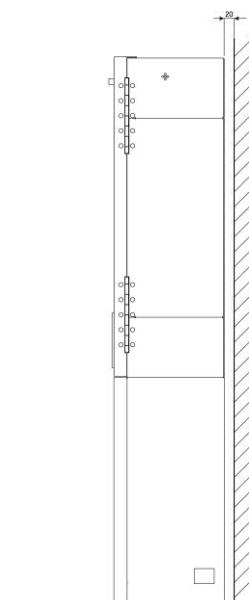
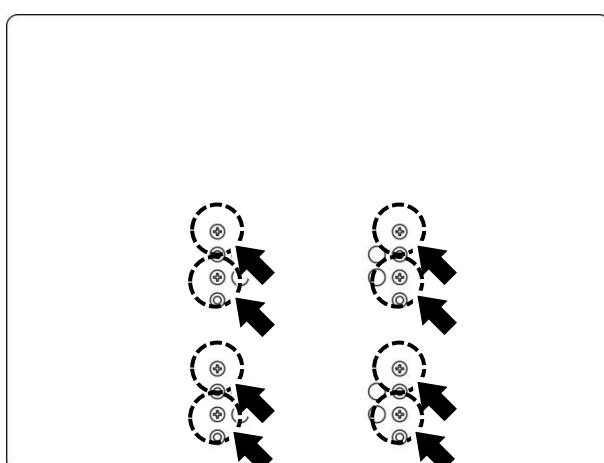
3-2 設置方法

1. 架台の底面に、台座を台座取り付け用ネジで 8 ケ所取り付けます。2 種類の取り付け方法があるので、設置場所に適した取り付け位置にしてください。

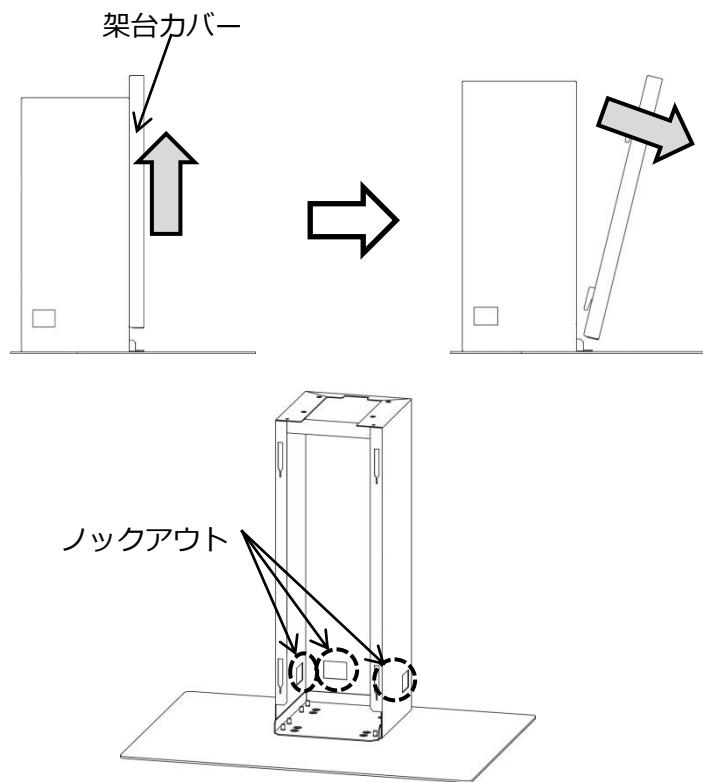
壁面に隙がない取り付け方法



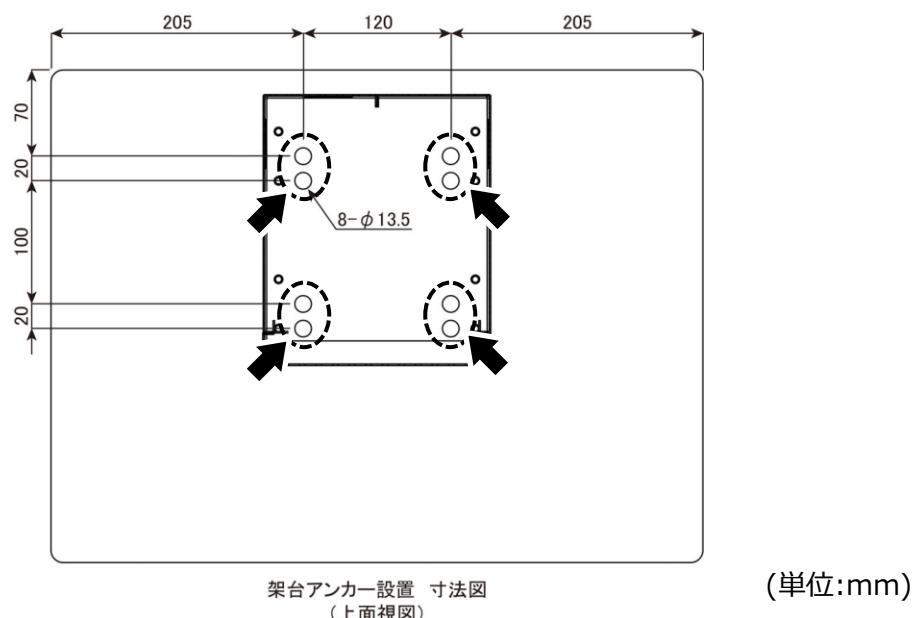
壁面に隙のある取り付け方法



2. 架台カバーを外し、電源プラグを通すノックアウトを抜きます。ノックアウトの抜き場所は3ヶ所あるので、設置場所に応じて決定してください。架台カバーは、上に引き上げてから手前に倒すと外れます。

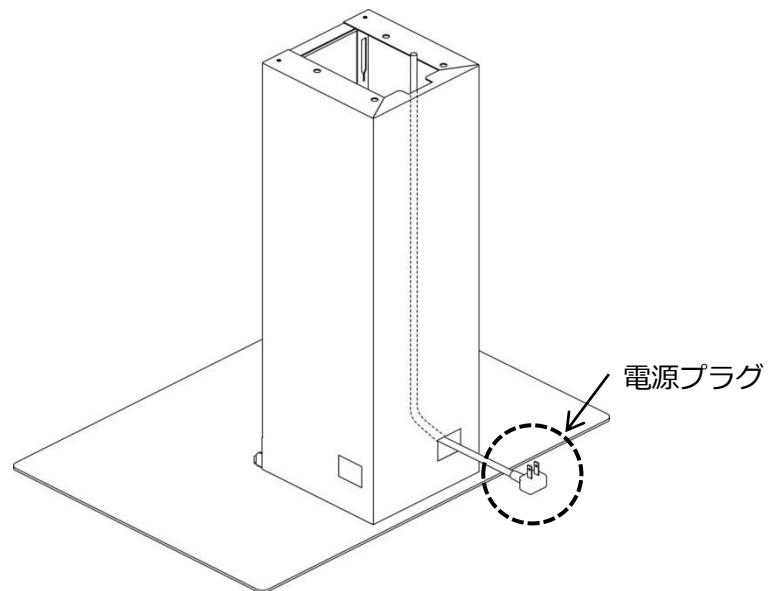


3. 設置する位置を決め、アンカーボルトで4ヶ所固定します。

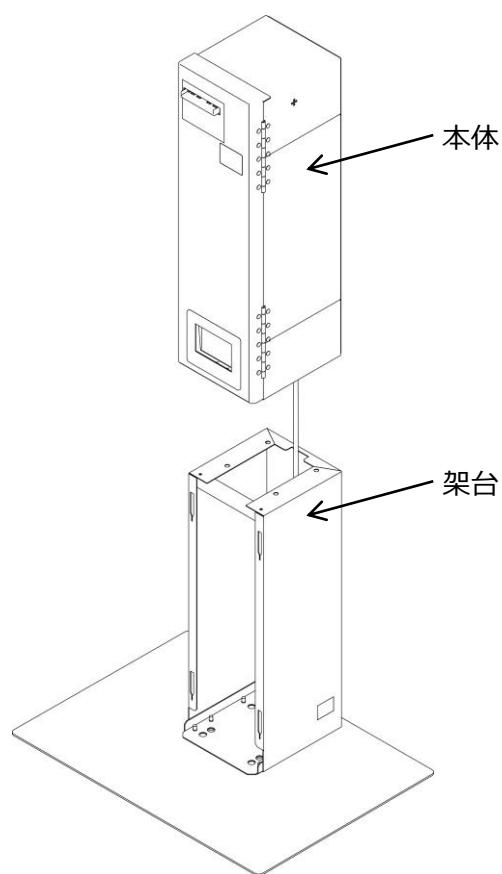


※台座の取り付け位置によって、片方の穴は塞がるので、開いている穴にアンカーボルトを差し込んでください。

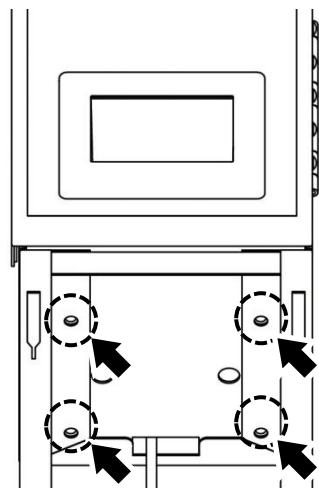
4. 本体の電源プラグを架台上部から内部へ通し、架台下側の開口部へ通します。



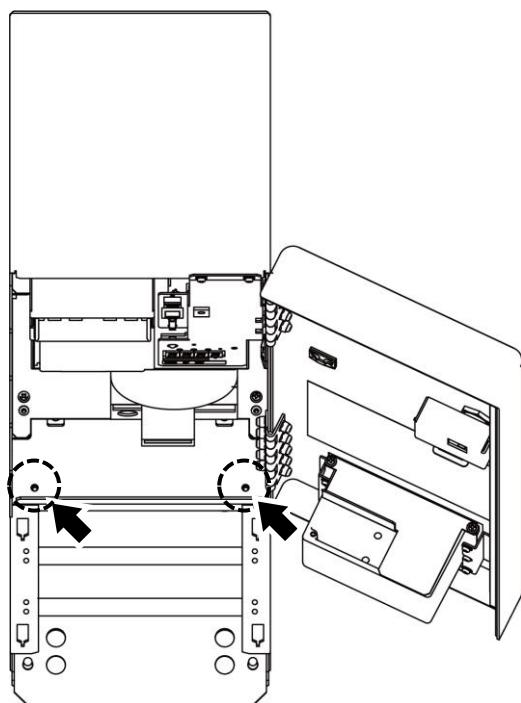
5. 架台に本体を載せます。



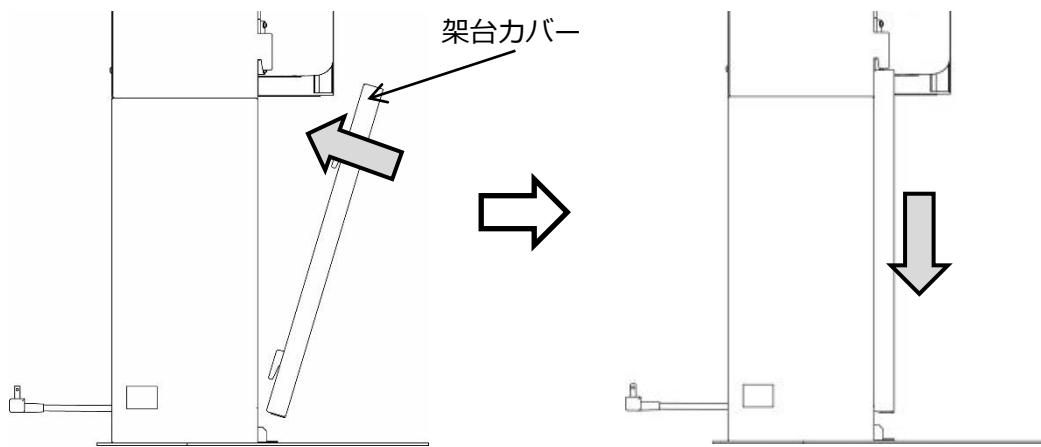
6. 架台内部の上面から、本体固定用ネジ 1 で 4 ケ所固定します。



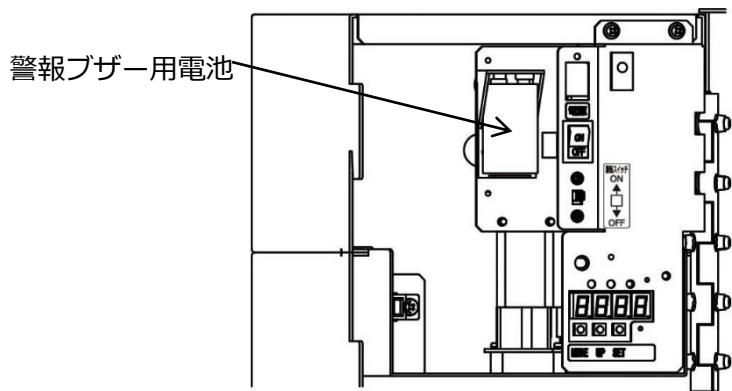
7. 本体の前面扉を開け、本体内部の底面から本体固定用ネジ 2 で 2 ケ所を固定します。



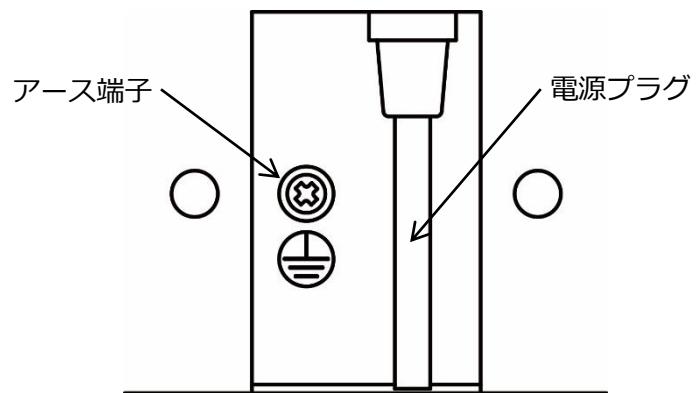
8. 架台カバーを取り付けます。



9. 「9-2 警報ブザーの電池」を参照して、電池ボックスに警報ブザー用電池を取り付けます。



10. 本体の背面下部にあるアース端子にアース線を接続し、前面扉を閉めます。



※アース線は必ず接続してください。

※電気工事およびアース(接地)工事は、必ず電気工事士により工事を行ってください。

※アース(接地)工事はD種(第3種)設置工事(接地抵抗値100Ω以下)を行ってください。

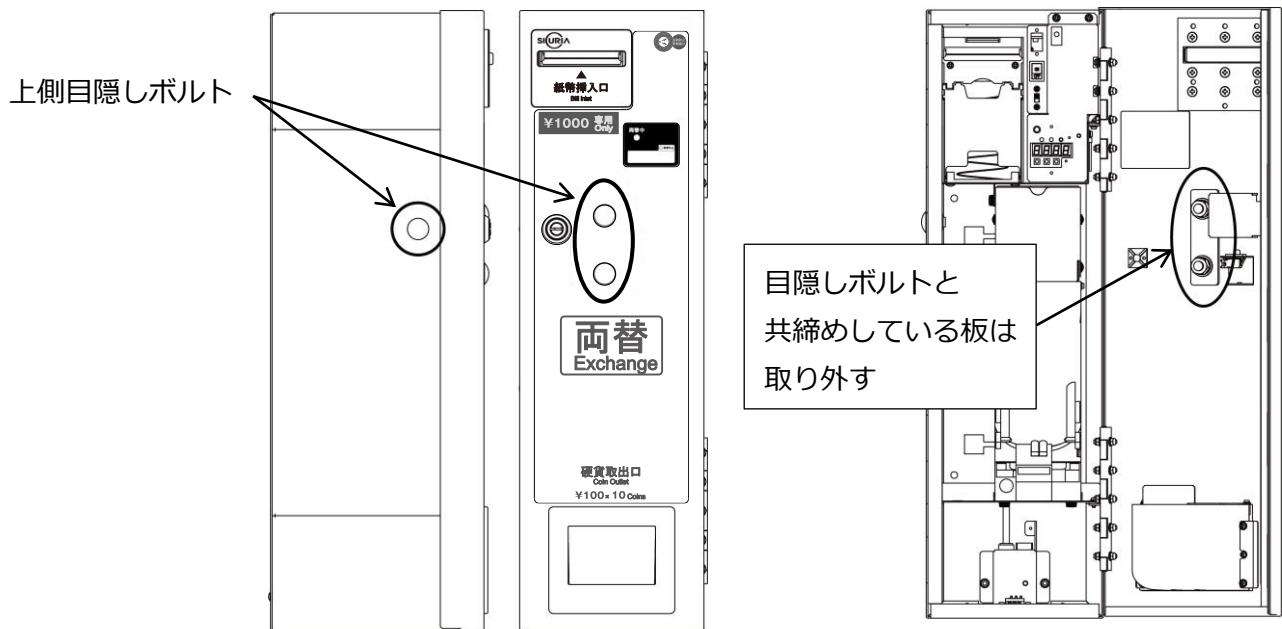
※アース線はガス管や水道管、電話機用のアース線には絶対に設置しないでください。

3-3 防盗部材

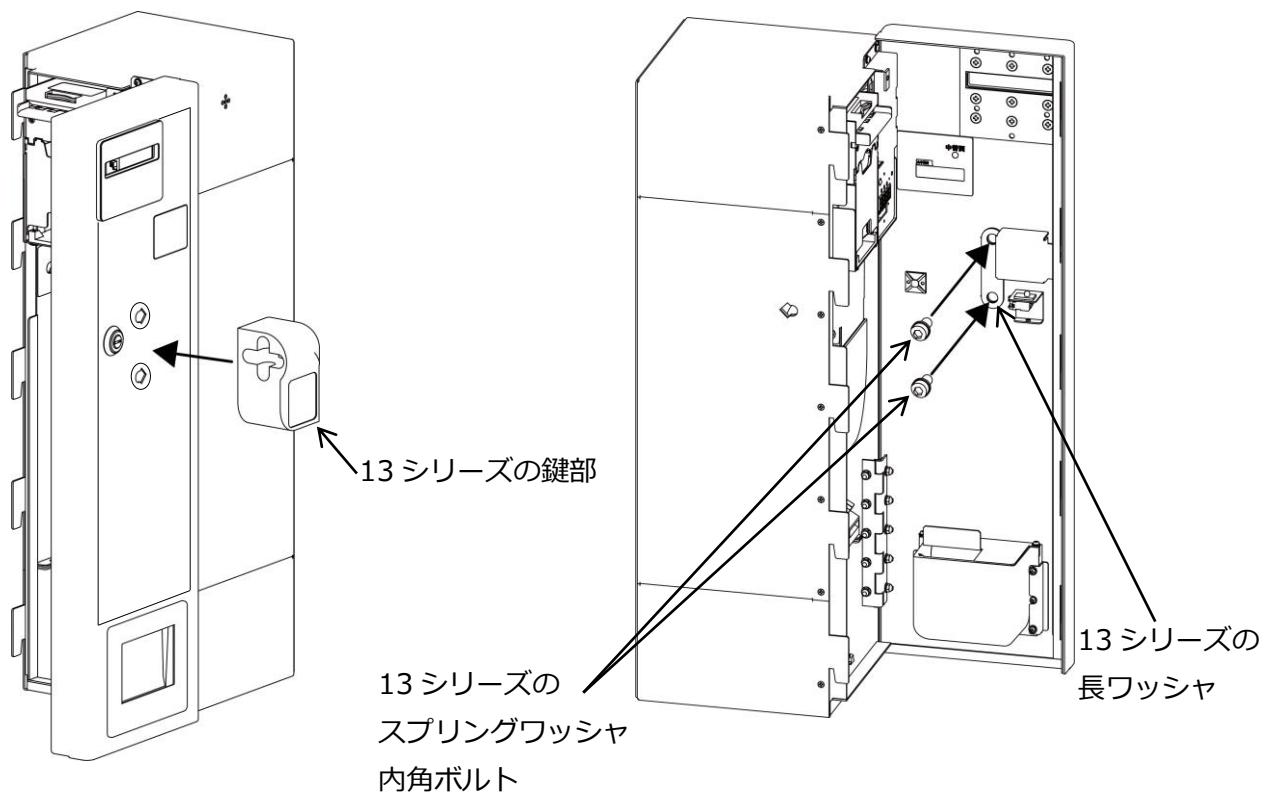
● 防盗部材を使用する場合は、防盗部材取り付け穴を利用して取り付けてください。

株式会社多奈川商店製 13 シリーズ(合金)左鍵用 0221(46-5[32cm])

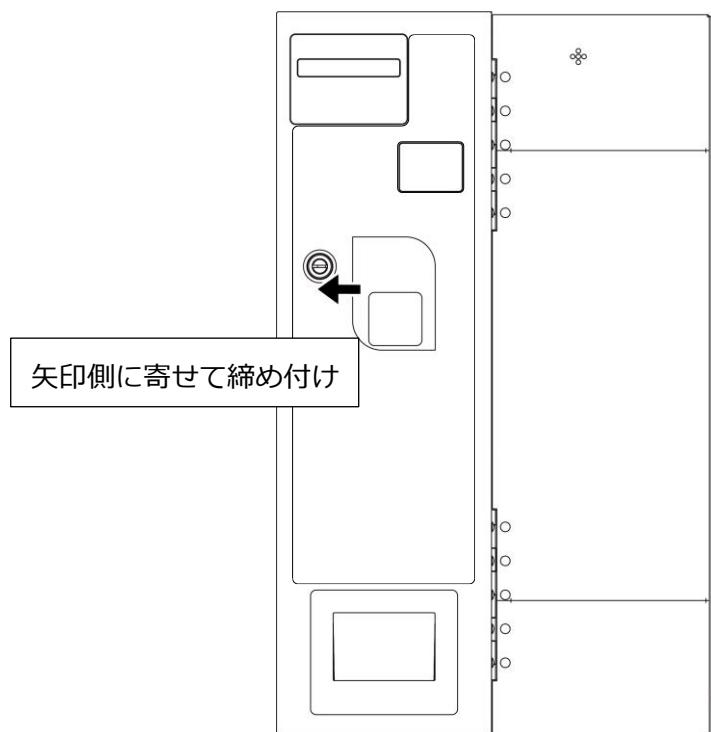
1. 防盗部材取り付け穴を目隠ししているボルトを取り外します。下側は穴開け加工が必要です。



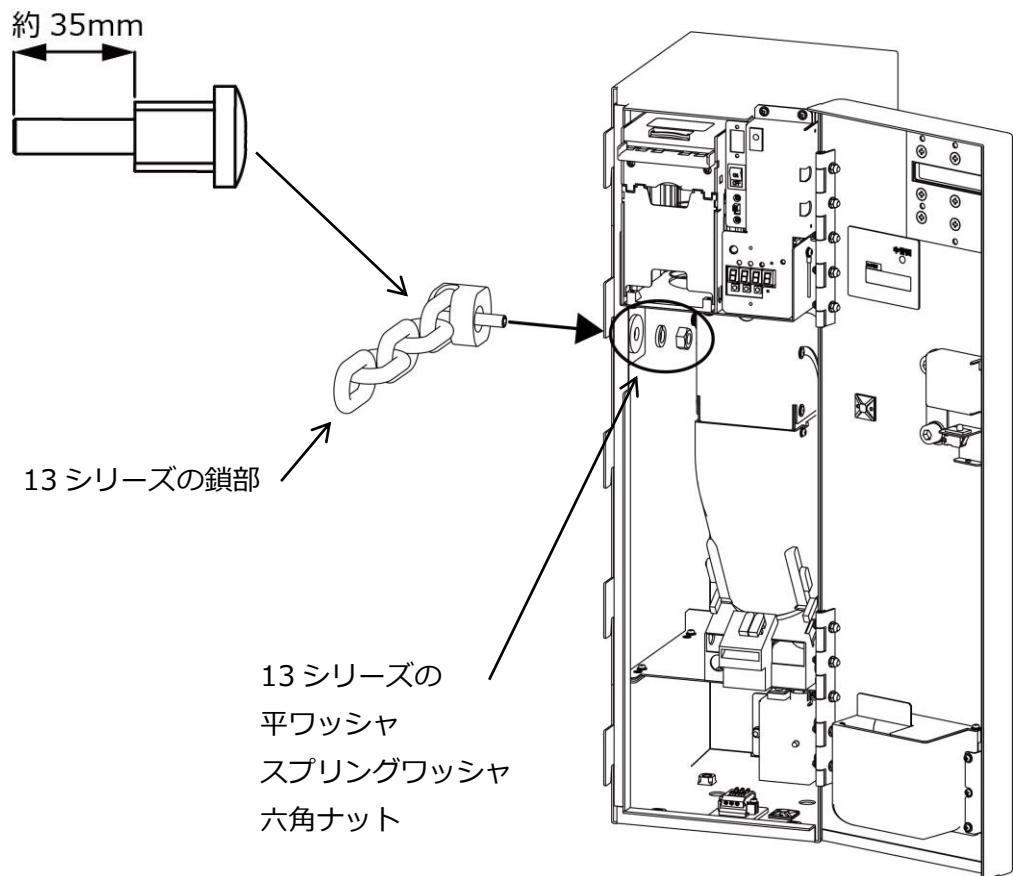
2. 13 シリーズの鍵部を扉に仮固定します。



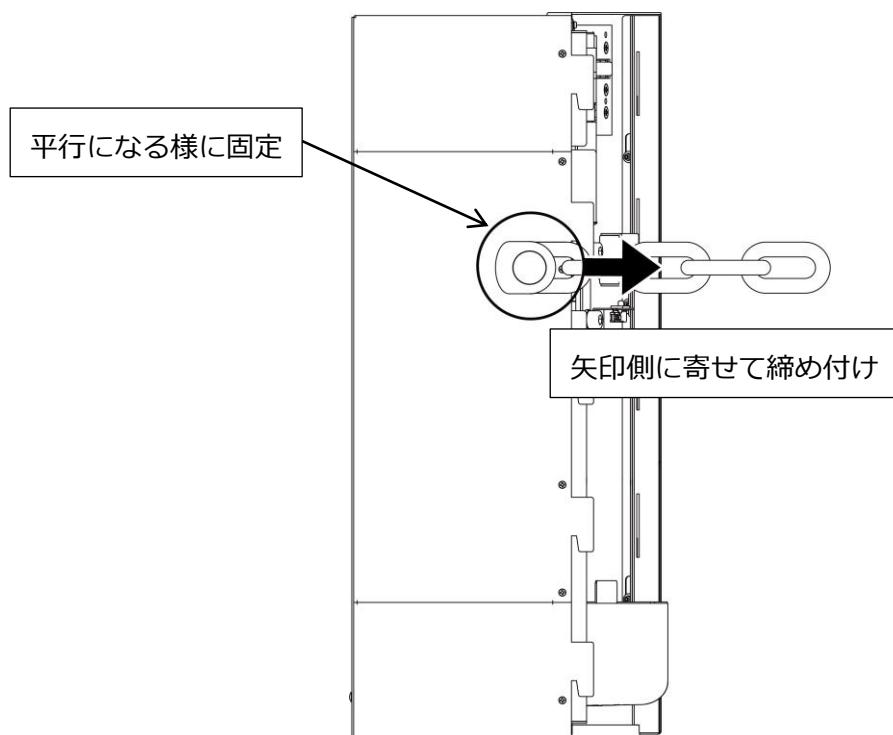
3. 仮固定した鍵部を左側へ下図の矢印側に寄せて、ボルトを締め付けます。



4. 本体側に13シリーズの鎖部を仮固定します。ボルト部は約35mm出してください。

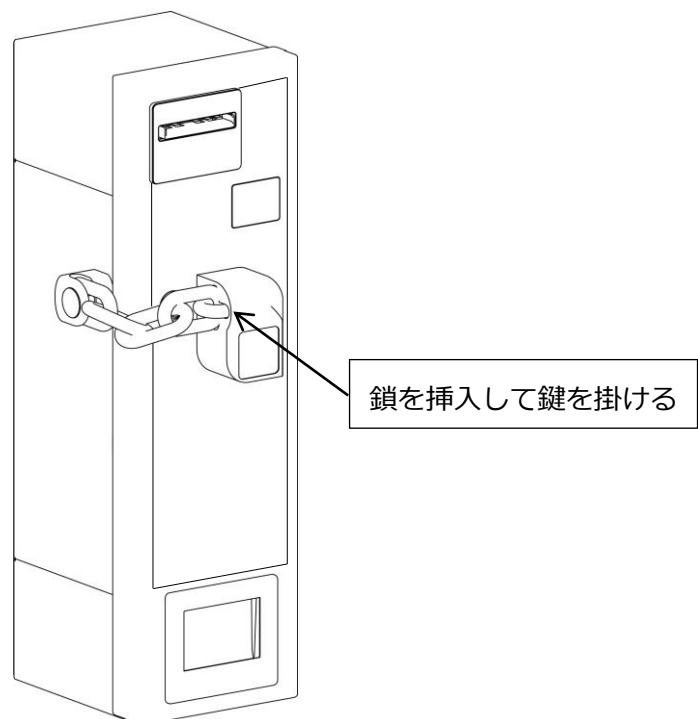


5. 仮固定した 13 シリーズの鎖部を、下図の矢印側に寄せてナットを締め付けます。



6. 扉を閉め、鎖を 13 シリーズの鍵部へ挿入し、鍵を閉めて完了です。

鎖の付属品カバーは任意で取り付けを行ってください。



3-4 外部パルス入力

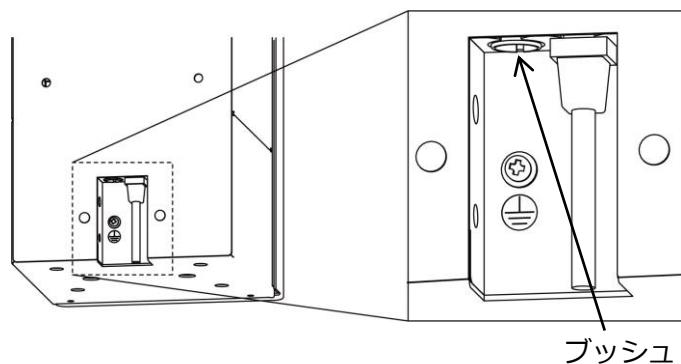
電線を接続する際には、必ず電源を OFF にしてください。

使用可能電線範囲

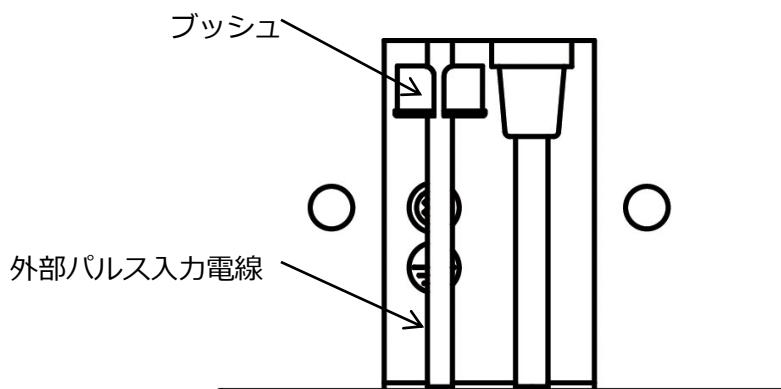
単線 $\varnothing 0.4\text{mm} \sim \varnothing 1.2\text{mm}$ (AWG26~AWG16)

撓線 $0.3\text{mm}^2 \sim 1.25\text{mm}^2$ (AWG22~AWG16)、素線径 $\varnothing 0.18\text{mm}$ 以上

1. 本体背面下部についている、ブッシュを取り外します。



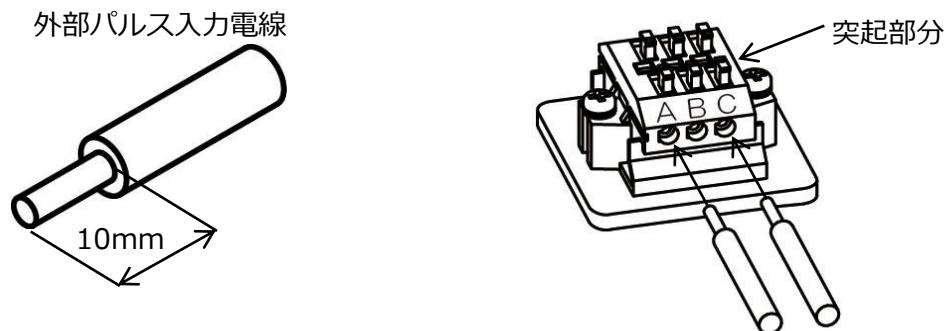
2. 外部パルス入力電線を、本体内部に通した後で、再度ブッシュを取り付けます。



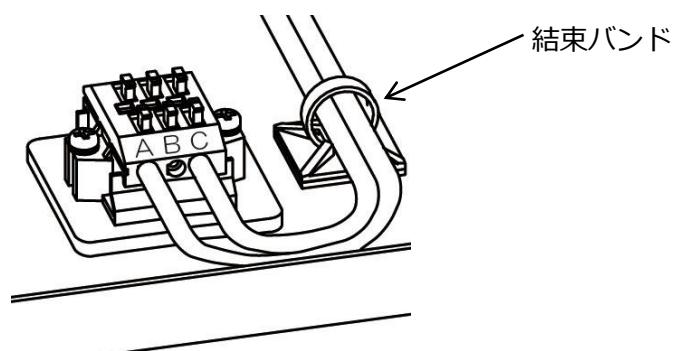
3. 外部パルス入力電線先端の被膜は、10mm程度を剥がしてください。端子台上部の突起部分を押しながら、電線を奥まで挿し込み、突起部分を放して固定します。

※A接点で使用する場合は左側、B接点で使用する場合は中央に挿し込みます。COMは必ず右側へ挿し込んでください。

※A接点とB接点は、同時に接続しないでください。



4. 外部パルス入力電線を端子台横のベースを使用して、付属品の結束バンドで固定します。



3-5 盗難および転倒防止

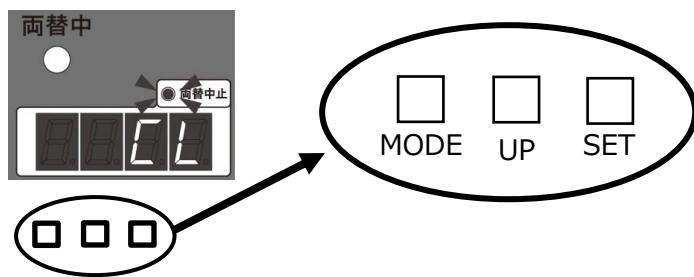
本体背面に壁面固定穴：Ø7mm 4ヶ所を準備しています。

より安全に運営していただくために、背面の固定を行なってください。

4 初期設定

電源を ON にすると、出荷状態の[CL]点滅表示になっています。

下記の操作を必ず行ってください。



・時計の設定

一旦電源を切り、MODEスイッチを押しながら電源をONするとメンテナンスモードに入ります。

MODEスイッチを押して **CLoC** 表示を選び、SETスイッチを押し時計設定を行います。

年(西暦下2桁)月日時分を設定します。設定後、秒は0秒になります。

Y.	※	※	L.	※	※	d.	※	※	H.	※	※	F.	※	※
年設定	月設定		日設定			時設定			分設定					

設定方法

- SETスイッチ:年設定値が表示されます。

設定変更時は、年月日時分の順に項目を移動します。

- UPスイッチ:設定値を加算します。また、長押しで連続加算します。
- MODEスイッチ:モード選択へ戻ります

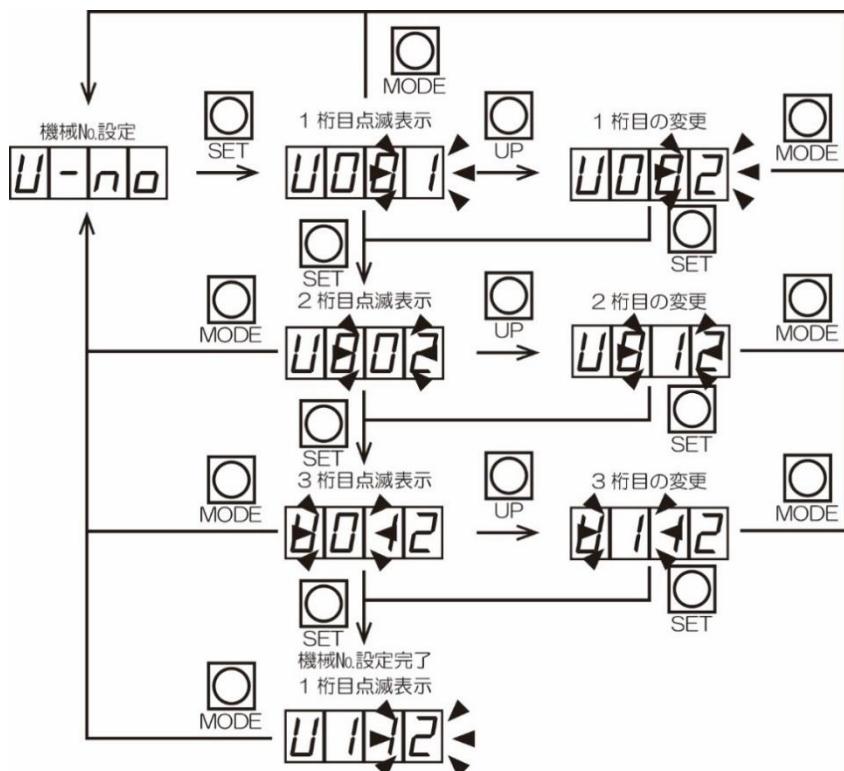
・機械No.設定

MODEスイッチで

U-n-o

を選択し、機械No.を16進数で設定します。

※ 初期値：001 範囲：001～FFF(4095)

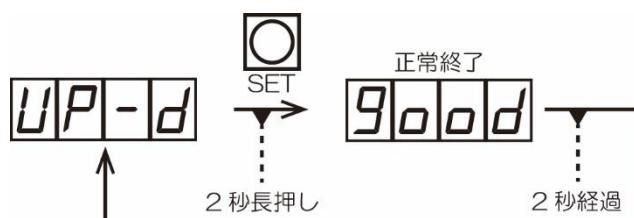


・期間データ更新

一旦電源を一旦切り 電源をONすると、[CL]点滅表示表示なります。

モードスイッチを押していくと UP-D が表示されます。

セットスイッチを長押しすると期間データを更新します。



・硬貨補充

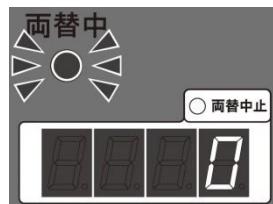
「8-4 硬貨の補充」を参照して硬貨を補充してください。

上記の操作が完了すると、待機表示になり、初期設定は完了です。

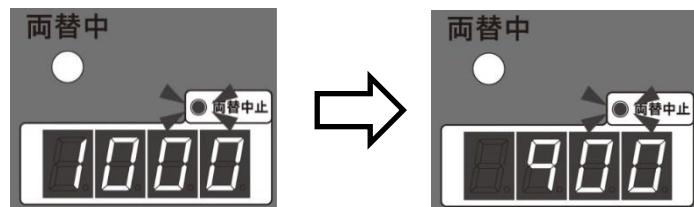


5 両替動作

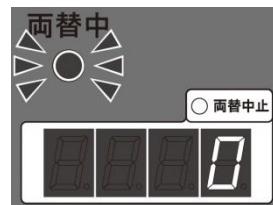
1. 両替中ランプが点灯している事を確認してから 1000 円紙幣を挿入します。



2. 両替中ランプが消灯し、[1000]表示に変わります。両替中止ランプが点灯し、100 円硬貨を 1 枚払い出すごとに、表示が 100 ずつ減額していきます。



3. 両替が完了すると、待機状態に戻ります。



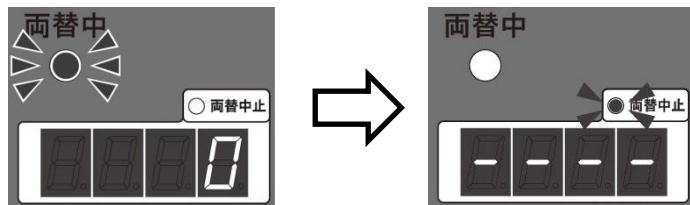
※硬貨払い出し機内にある 100 円硬貨の状態によって、払い出し後に均し動作を行う事があります。

6 外部パルス

6-1 外部パルス入力の払い出し動作

両替中ランプが点灯している状態で外部パルスを入力すると、両替中ランプが消灯、両替中止ランプが点灯し、[----]表示に変わります。

1パルスにつき 100 円硬貨を 1 枚払い出します。



※硬貨払い出し機内にある 100 円硬貨の状態によって、払い出し後に均し動作を行う事があります。

6-2 外部パルスについて

外部パルスの入力による硬貨払い出しは、エラーが発生している状態でも動作します。紙幣詰まりなどで紙幣の代替えとして払い出しを行う場合は、十分に注意して使用してください。

※硬貨払い出し機異常、硬貨切れ、硬貨払い出し機コネクタ抜け、システム異常が発生している状態では外部パルス入力による払い出しは行えません。

- 外部パルスの信号は、無電圧接点信号で A 接点入力、または B 接点入力で接続します。

(A 接点)

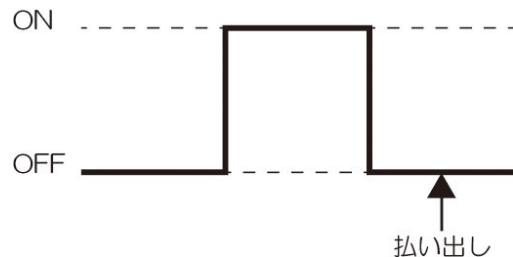


(B 接点)

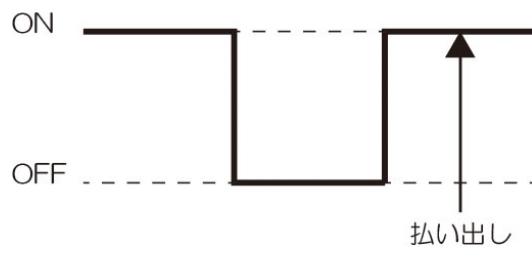


- 1 パルスにつき 1 枚の硬貨を払い出します。

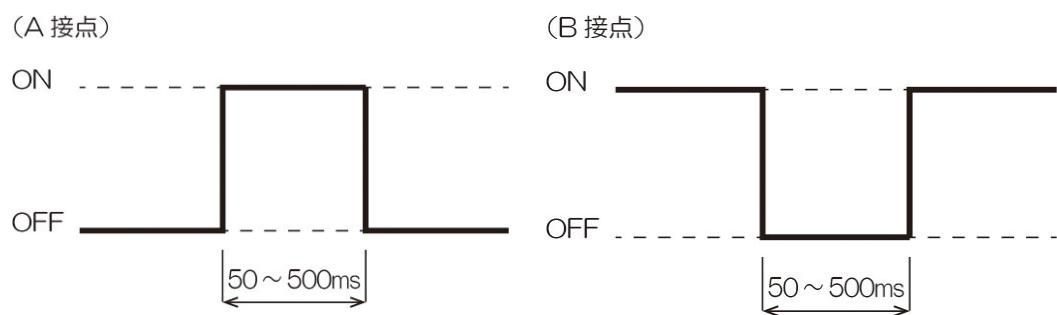
(A 接点)



(B 接点)

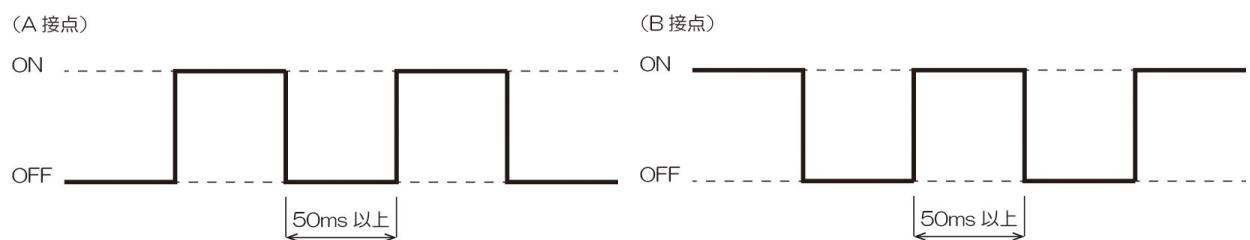


- 外部パルスの波形は 50~500ms の範囲で設定してください。

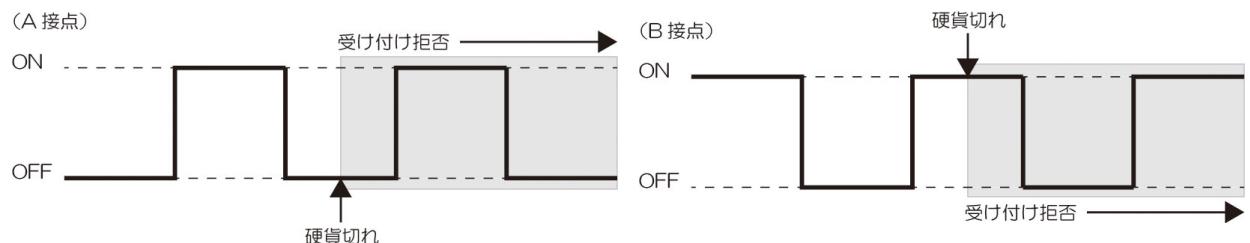


※50~500ms の信号であれば外部パルスとして認識し、払い出しを行います。

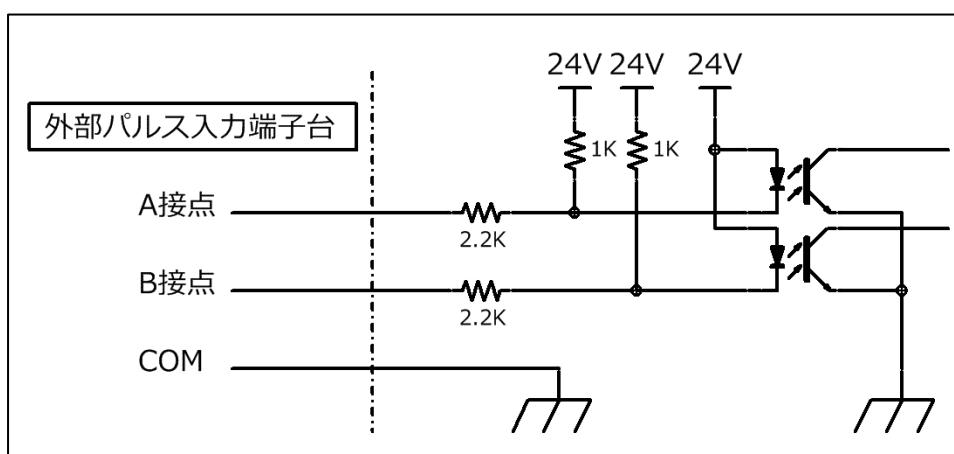
- 外部パルスを連続で入力する場合は、50ms 以上の間隔を開けてください。



- 外部パルスを連続で入力している際に硬貨切れが発生した場合、以降の外部パルスは受け付けません。



※入力回路は下図のようになります。



7 モード

7-1 確認モード

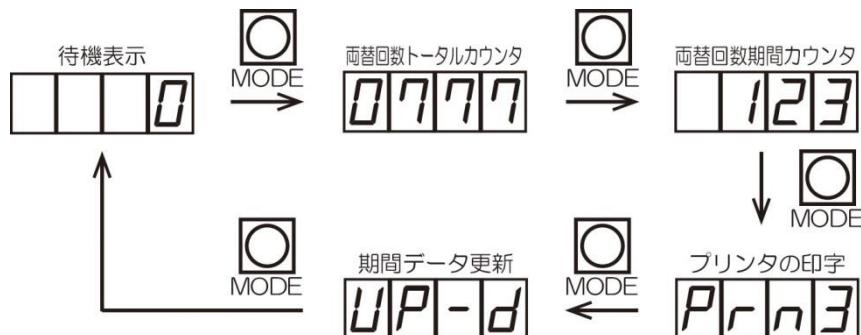
●確認モード一覧

表示	モード名	機能
	両替回数 トータルカウンタ	トータルの両替回数を表示します。 (リセットなし 4行表示)
	両替回数 期間カウンタ	期間内の両替回数を表示します。 (リセットあり 3行表示)
	プリンターの印字	本機では使用しません。操作しないでください。
		
	期間データ更新	初期設定および、期間データの更新を行います。

●確認モード内の流れ

確認モードは、待機状態で MODE スイッチを押すことで切り替わります。

※確認モードでは、10秒以上操作を行わなければ待機表示に戻ります。



1. 両替回数トータルカウンタ

両替された回数を確認します。

4行で表示し、リセットは行えません。

2. 両替回数期間カウンタ

期間データを更新してからの両替された回数を確認します。

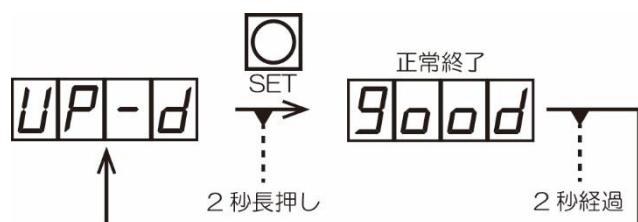
3行で表示し、期間データ更新でリセットされます。

3. プリンターの印字

本機では使用しません。操作しないでください。

4. 期間データ更新

各期間カウンタをクリアし、伝票No.を1加算します。



7-2 メンテナンスマード

●メンテナンスマード一覧

表示	モード名	機能
	紙幣識別機テスト	紙幣の読み込みテストを行います。
	硬貨払出機テスト	硬貨の払い出しテストを行います。
	時計設定	年月日、時間を設定します。
	伝票No.設定	伝票No.を設定します。
	機械No.設定	機械No.を設定します。
	紙幣カウンタ確認	紙幣が挿入された枚数のトータルカウンタ、期間カウンタを表示します。
	両替枚数カウンタ確認	硬貨が払い出された枚数のトータルカウンタ、期間カウンタを表示します。
	外部パレス入力払出カウンタ確認	外部パレス信号を受信し、硬貨が払い出された枚数のトータルカウンタ、期間カウンタを表示します。
	硬貨回収	硬貨払出機内の硬貨を払い出します。
	印刷ページ枚数設定	本機では使用しません。操作しないでください。

●メンテナンスモードの流れ

メンテナンスモードは、各種テストや各機能設定を行います。

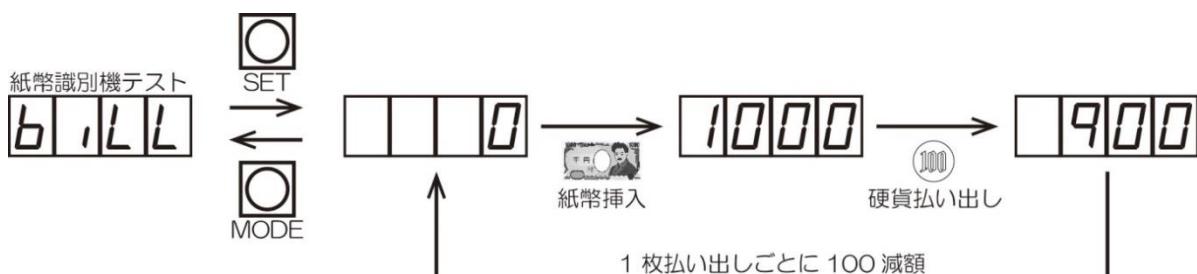
MODEスイッチを押しながら電源をONにするとメンテナンスモードになります。MODEスイッチはバージョン表示が消えるまで押し続けてください。



1. 紙幣識別機テスト

紙幣識別機の動作確認を行います。

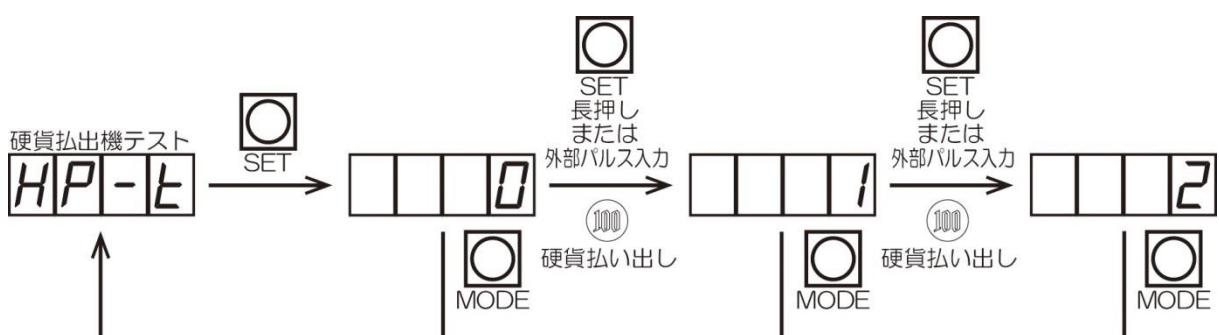
1000円紙幣を挿入すると、100円硬貨を10枚払い出します。



2. 硬貨払出機テスト

硬貨払出機の動作確認、および外部パルス入力の確認を行います。

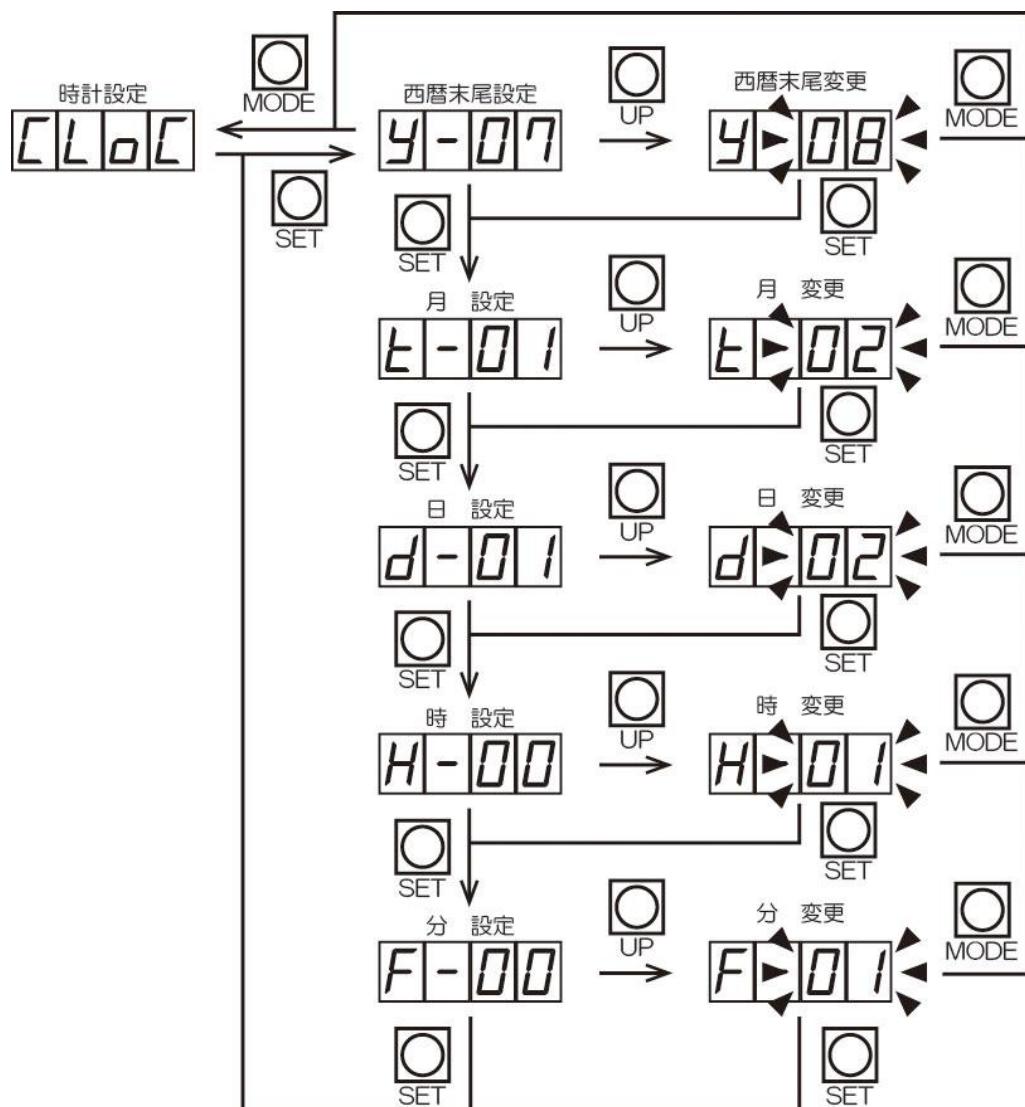
1回の操作で、硬貨を1枚払い出します。



3. 時計設定

年月日と現在時刻の設定を行います。

※初期値：07年01月01日00時00分

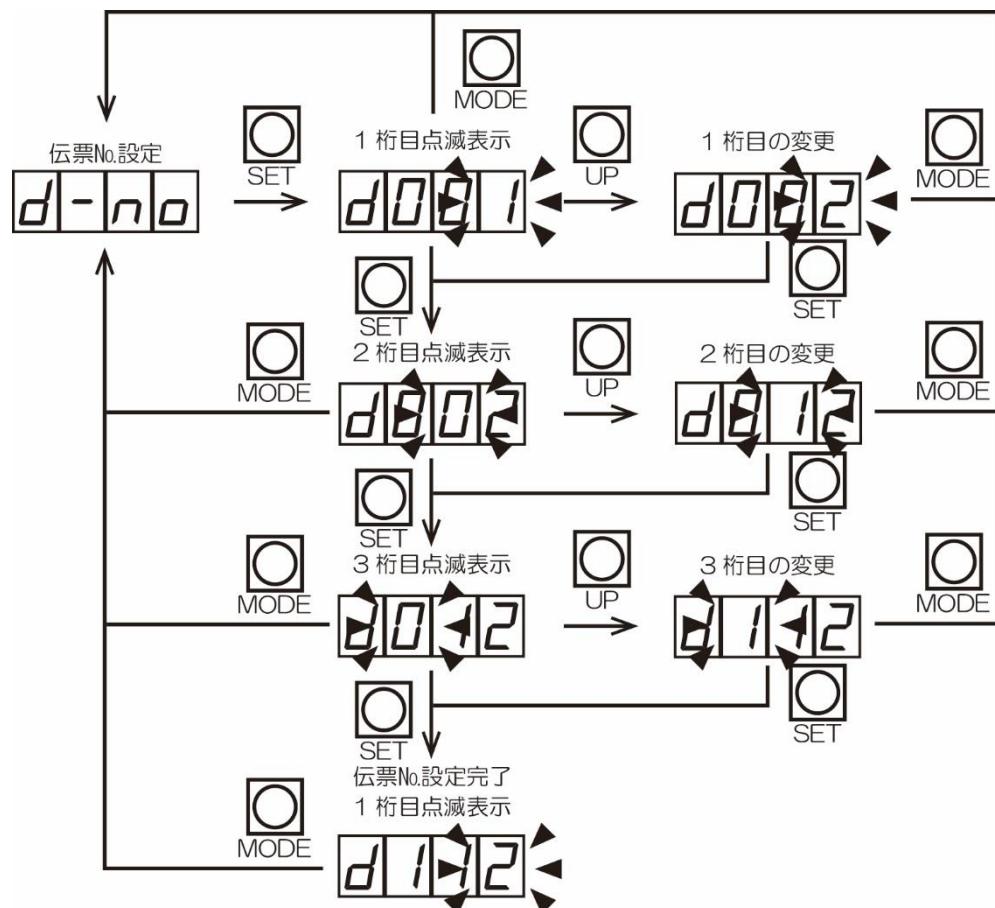


4. 伝票No.設定

伝票No.を設定します。

期間データを更新するごとにカウントアップします。

※初期値：0(出荷時のみ) 範囲：1～999

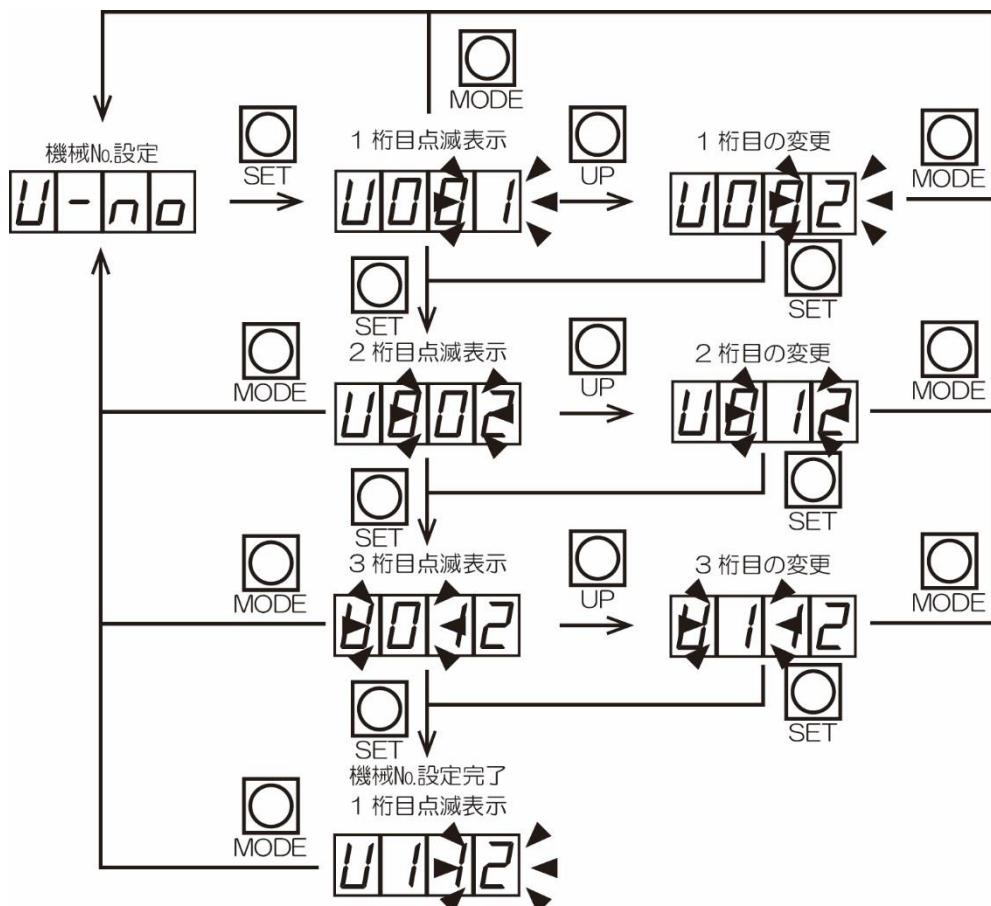


5. 機械No.設定

機械No.を設定します。

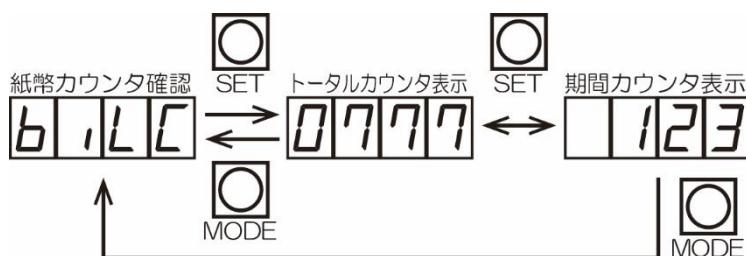
値は 16 進数で設定します。

※初期値：001 範囲：001～FFF(4095)



6. 紙幣カウンタ確認

挿入された紙幣枚数のトータルカウンタ、期間カウンタの確認を行います。



※トータルカウンタ表示は 4 桁、期間カウンタ表示は 3 桁で表示します。

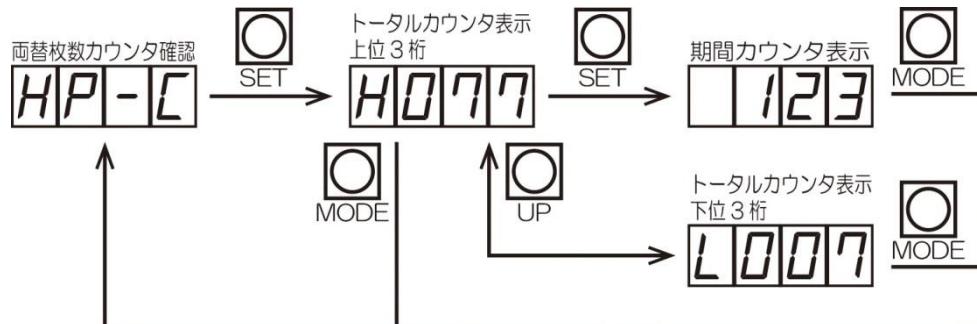
トータルカウンタの範囲：0000～9999

期間カウンタの範囲：0～999

各カウンタは、上限範囲を超えると「0」に戻ります。

7. 両替枚数カウンタ確認

払い出した硬貨枚数のトータルカウンタ、期間カウンタの確認を行います。



※トータルカウンタ表示は6桁、期間カウンタ表示は4桁で表示します。

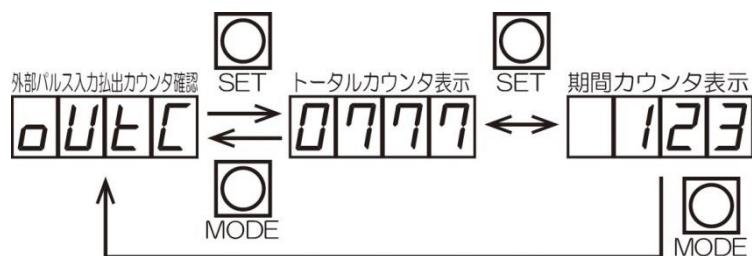
トータルカウンタの範囲：000000～999999

期間カウンタの範囲：0～9999

各カウンタは、上限範囲を超えると「0」に戻ります。

8. 外部パルス入力払込カウンタ確認

外部パルス信号を受信し、払い出した硬貨枚数のトータルカウンタ、期間カウンタの確認を行います。



※トータルカウンタ表示は4桁、期間カウンタ表示は3桁で表示します。

トータルカウンタの範囲：0000～9999

期間カウンタの範囲：0～999

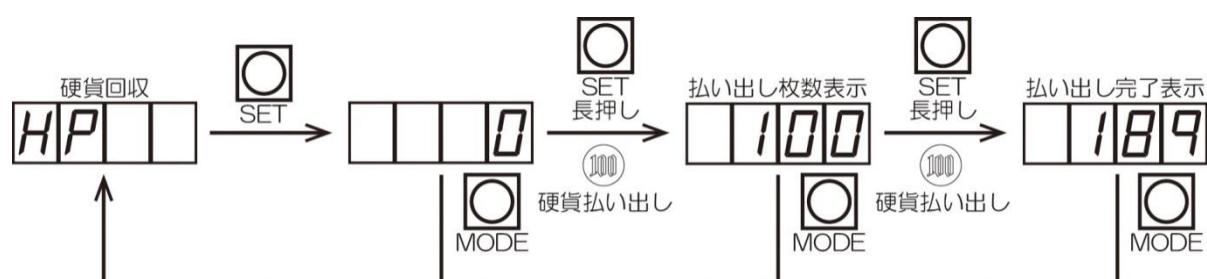
各カウンタは、上限範囲を超えると「0」に戻ります。

9. 硬貨回収

SETスイッチを長押しすることで硬貨払込機内の硬貨を払い出します。

払い出し動作は100枚単位です。

払い出し中にSETスイッチを押すと払い出しを停止できます。



10. 印刷ページ枚数設定

本機では使用しません。操作しないでください。

8 日常のお手入れ

8-1 紙幣識別機の清掃

紙幣識別機は、紙幣、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると、紙幣の受入率低下、札詰まりなどの異常が発生し、性能が維持できなくなります。

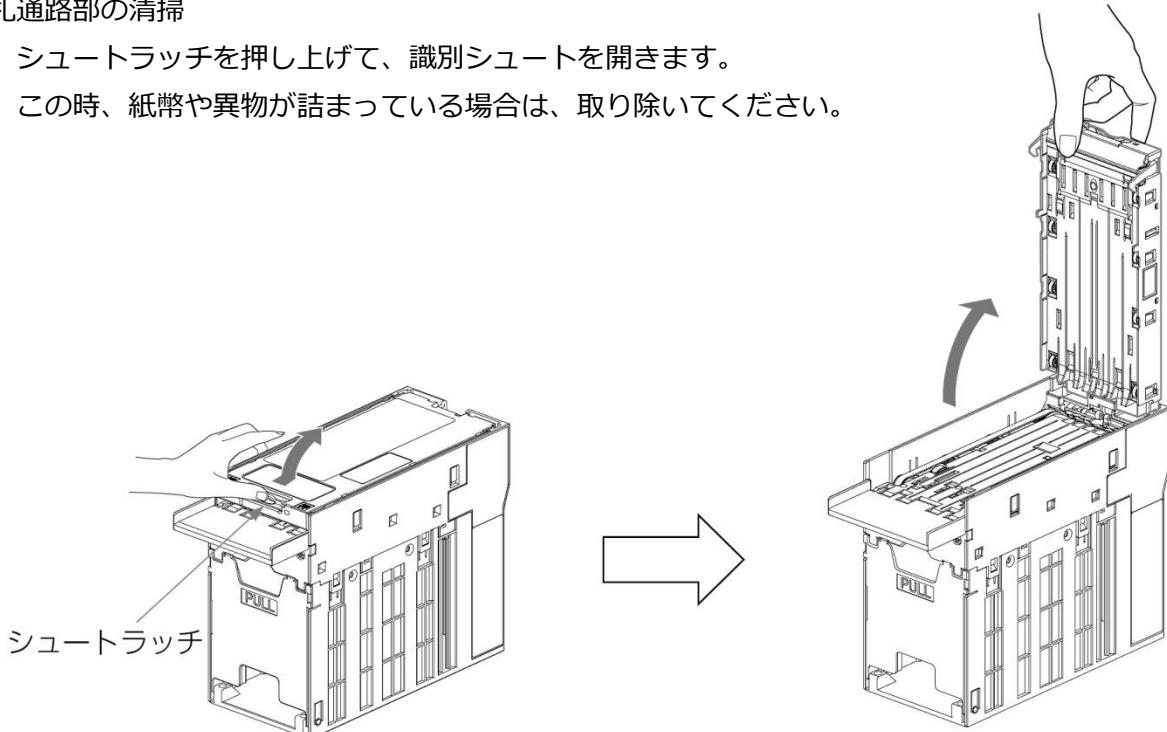
性能を長く維持するために、1~3ヶ月に1度定期的に清掃してください。

【注意】

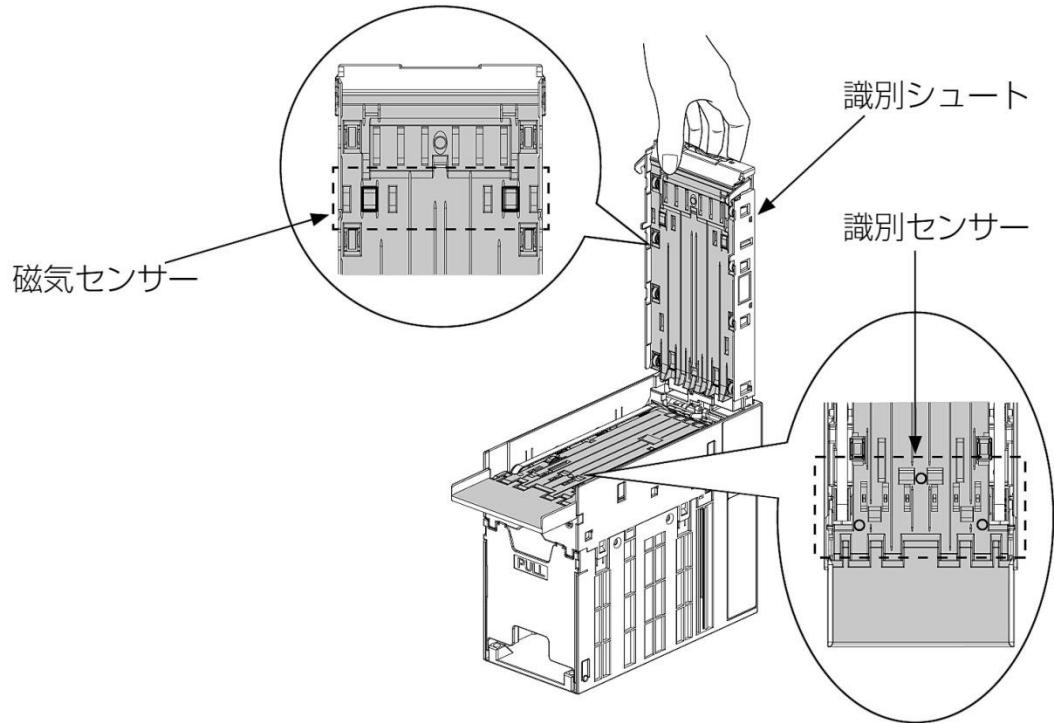
- ・日常のお手入れが終わりましたら、必ず動作テストを行い、異常がないことを確認してください。確認をしないと異常を発見できず、誤動作や故障の原因となります。
- ・必ず電源が切断されていることを確認してください。
- ・識別シート、リアシート、フロントドアを開けた時、雨水や異物が入らないように注意してください。
- ・本体についていた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布や綿棒などで乾拭きしてください。
- ・識別センサーは発光部と受光部が対になっていますので、必ず両方清掃してください。
- ・乾拭きで汚れが取りにくい時は、柔らかい布や綿棒などに無水エタノールを含ませてください。
- ・搬送ベルトの清掃には、無水エタノールは絶対に使用せず、必ず柔らかい布や綿棒などで乾拭きしてください。
- ・酸性、アルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー系の溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変形や変色、故障の原因になります。

●札通路部の清掃

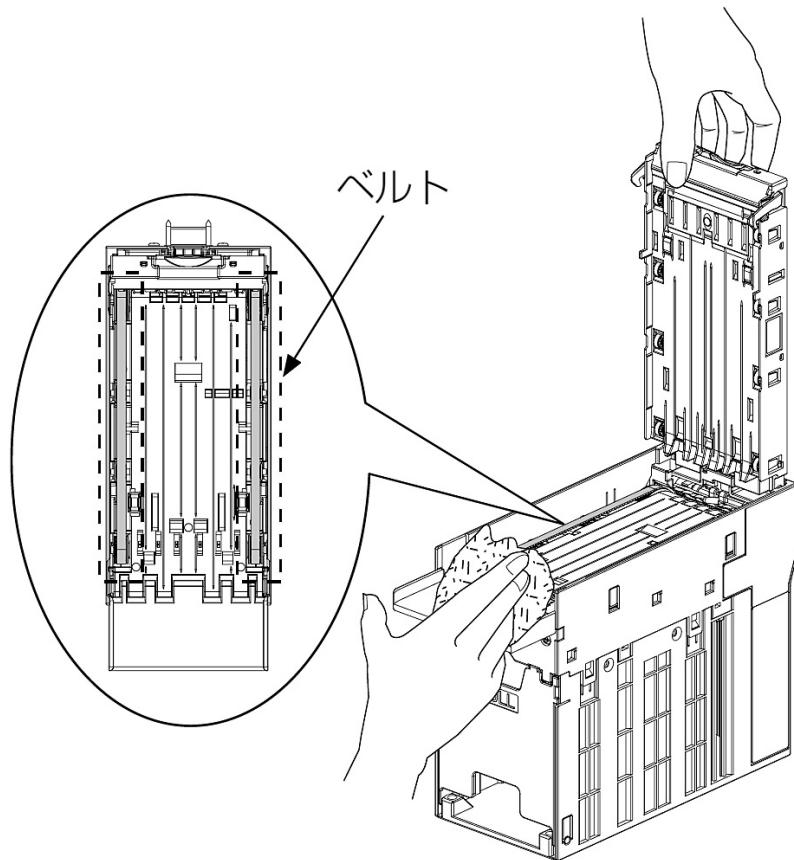
1. シュートラッチを押し上げて、識別シートを開きます。
この時、紙幣や異物が詰まっている場合は、取り除いてください。



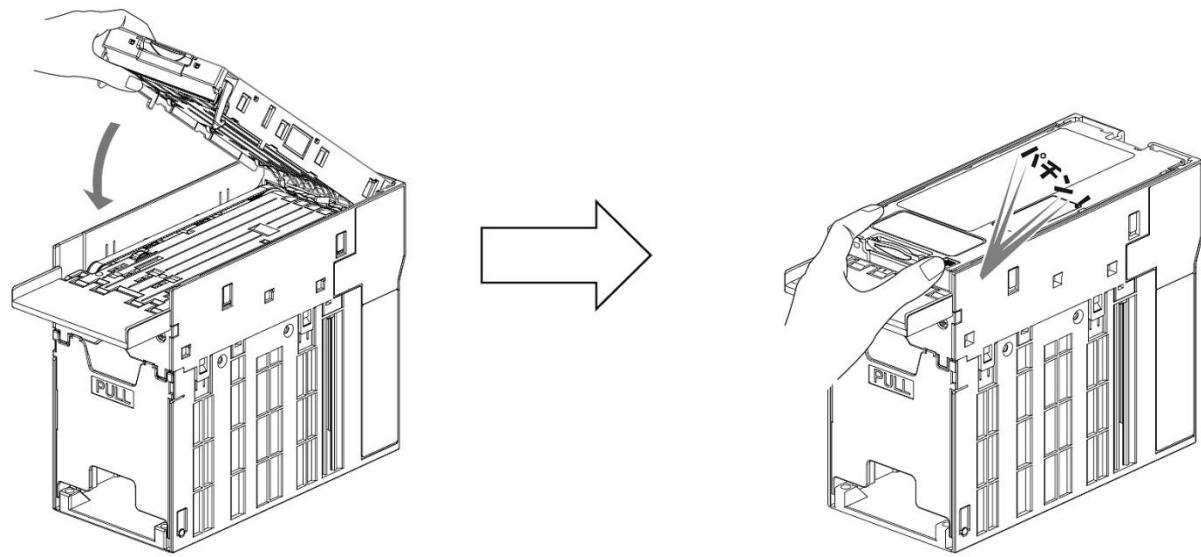
2. 識別シートを手で開きながら、紙幣通路部、識別センサー、磁気センサーを清掃します。



3. ベルトを回転させて、柔らかい布でベルトを乾拭きします。

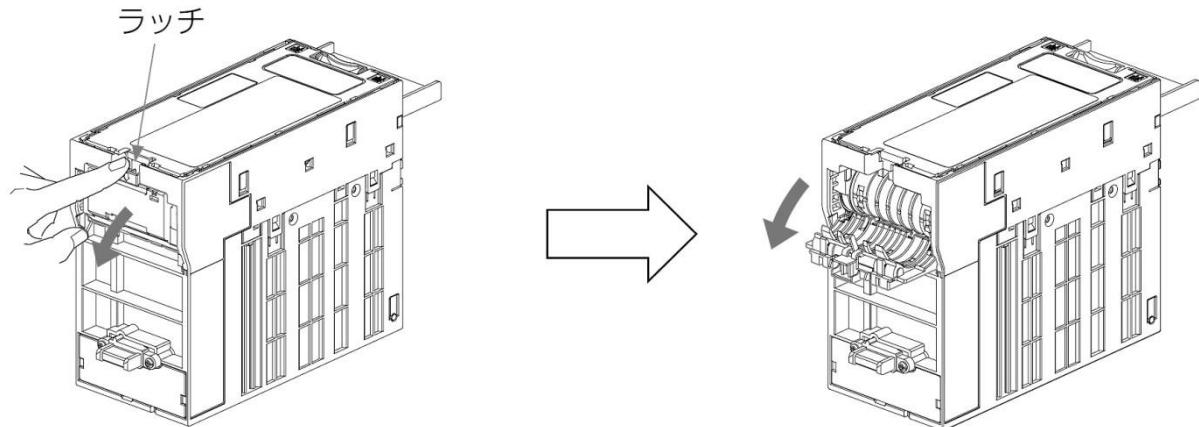


4. 識別シートを「パチン」と音がするまで閉じます。

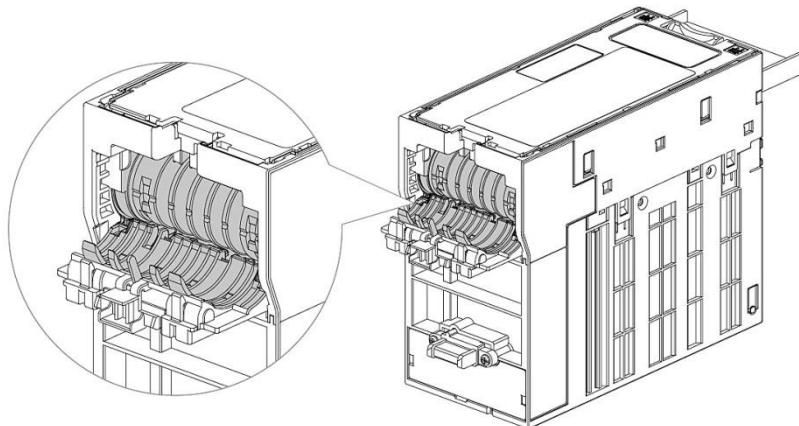


●リアシートの清掃

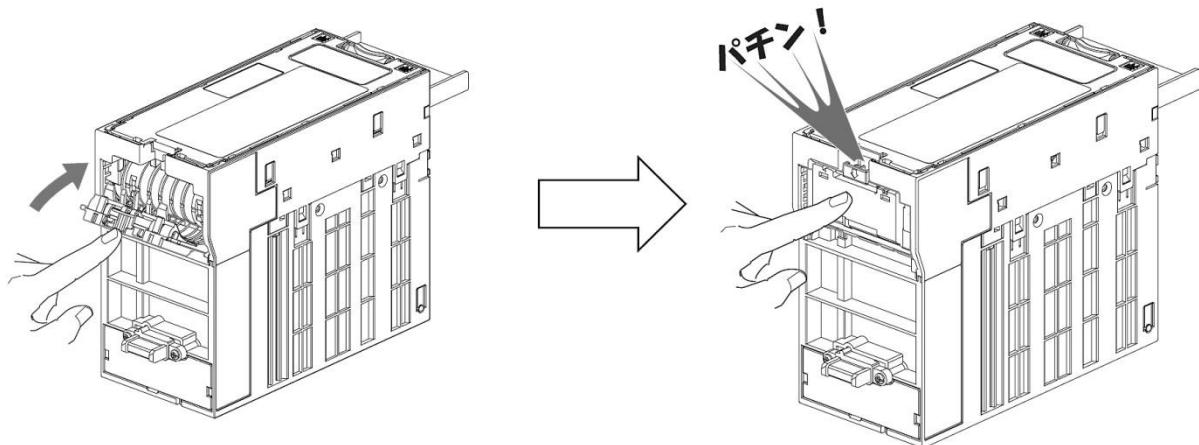
1. ラッチを押し下げリアシートを開きます。この時紙幣や異物が詰まっている場合は、取り除いてください。



2. リアシートの紙幣通路部を清掃します。



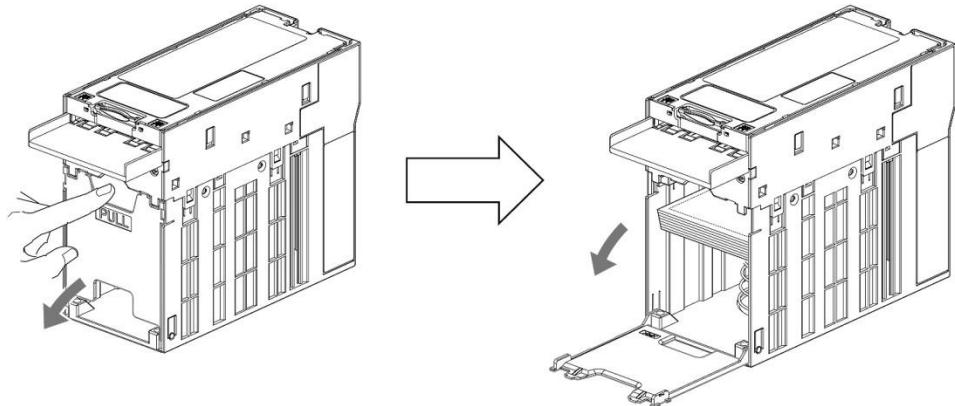
3. リアシートを「パチン」と音がするまで閉じます。



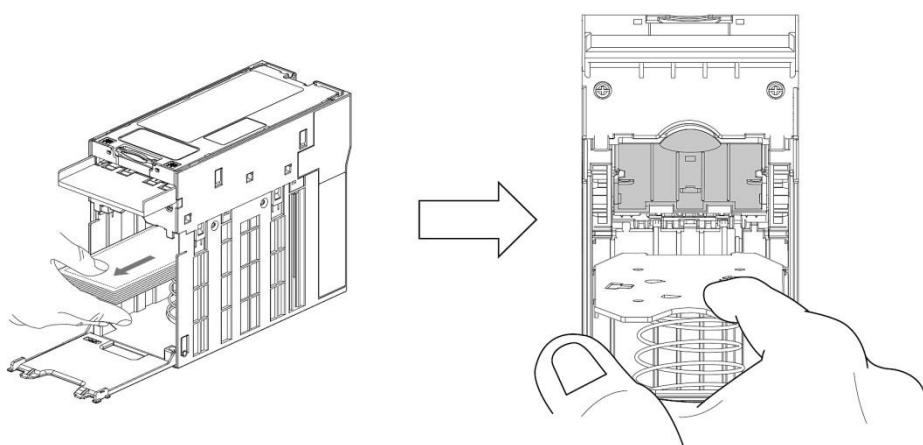
8-2 紙幣の回収方法

前面扉を開け、電源を OFF にしてください。

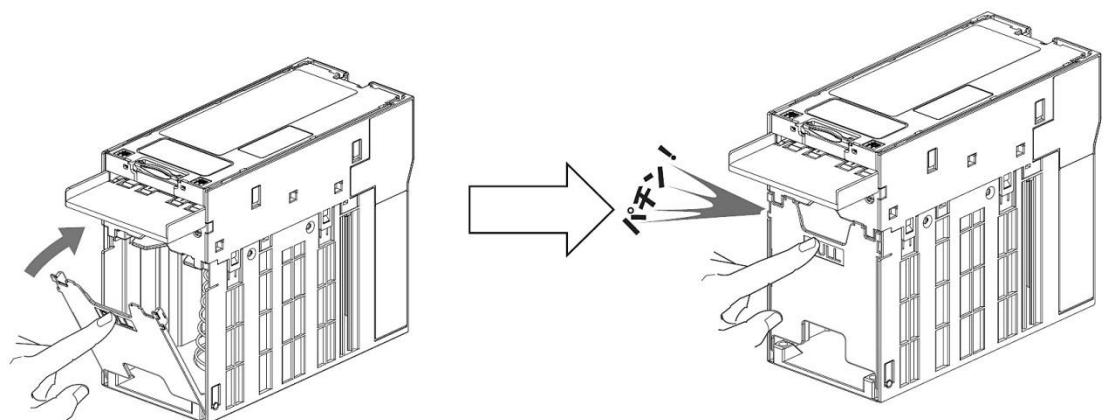
1. 紙幣識別機の扉を、手前に倒して開きます。



2. 収納された紙幣を回収します。その際にプレートを指で下げ、紙幣通路部に紙幣や異物が詰まっている場合は取り除いてください。



3. 紙幣識別機の扉を、「パチン」と音がするまで確実に閉じます。



8-3 硬貨払出機の清掃

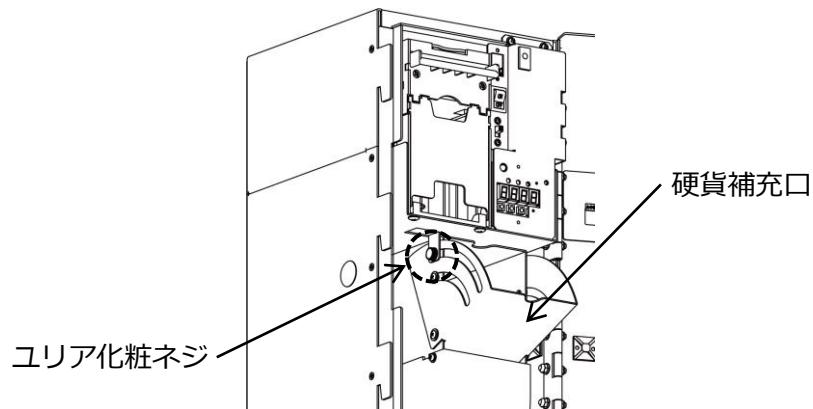
硬貨払出機は、硬貨払い出し、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると硬貨の払い出し異常が発生し、性能が維持できなくなります。

性能を長く維持するために、10万カウントまたは3ヶ月に一度定期的に清掃してください。

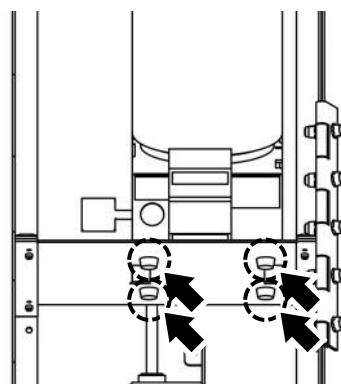
【注意】

- ・清掃が終わりましたら、必ず動作テストを行い、異常がないことを確認してください。
確認をしないと異常を発見できず、誤動作や故障の原因となります。
- ・必ず電源プラグが抜かれていることを確認してください。
- ・アルコールにて清掃する場合は、イソプロピルアルコール以外使用しないでください。

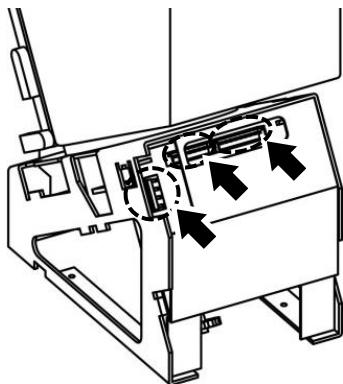
1. 硬貨補充口を開けて、ユリア化粧ネジを外します。



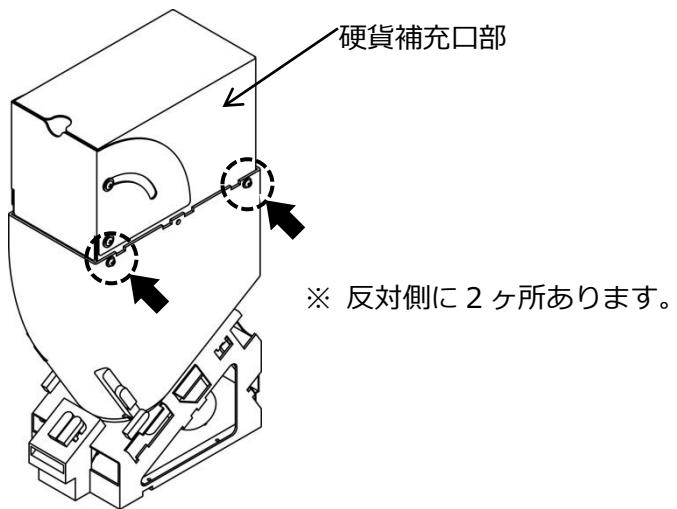
2. 硬貨払出機底面の固定しているネジ4ヶ所を外します。



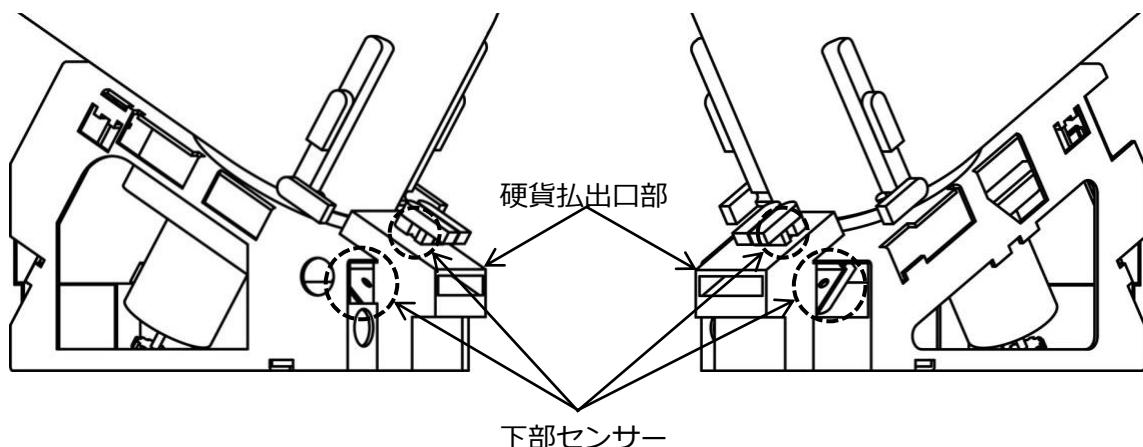
3. 硬貨払出機を引き出し、後部に接続している線を外します。



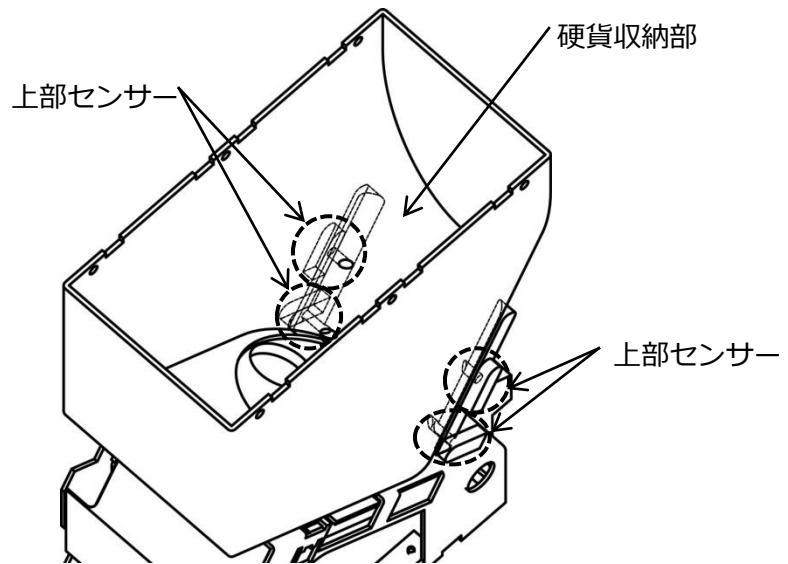
4. 硬貨補充口部を固定しているネジ 4ヶ所を外して、取り外してください。



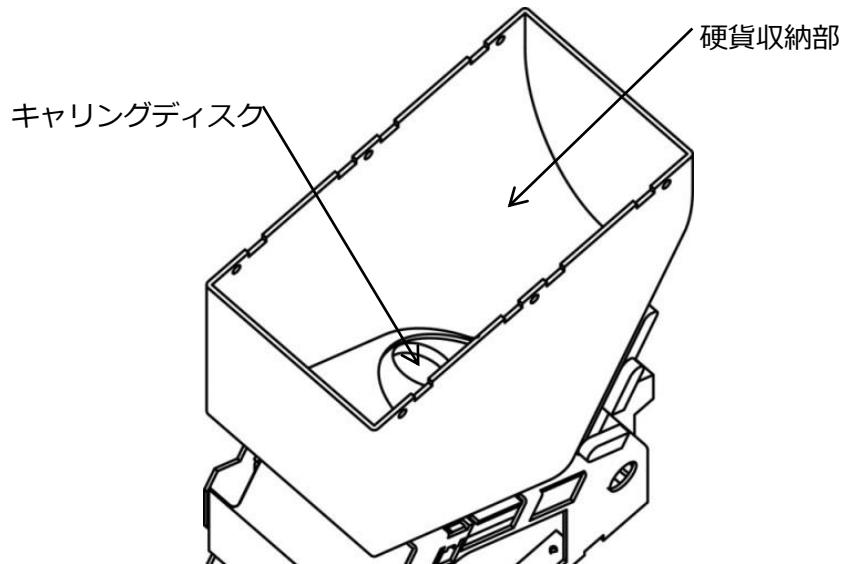
5. 下部センサー4ヶ所のほこりや汚れを硬貨払出口部の横からハンドプロワ、または綿棒、ベビーブラシにて清掃してください。



6. 硬貨収納部の上から上部センサー4ヶ所のほこりや汚れをハンドブロワ、または綿棒、ベビー綿棒にて清掃してください。



7. アルコールを含ませたウエスで、硬貨収納部、キャリングディスクのほこりや汚れを清掃してください。



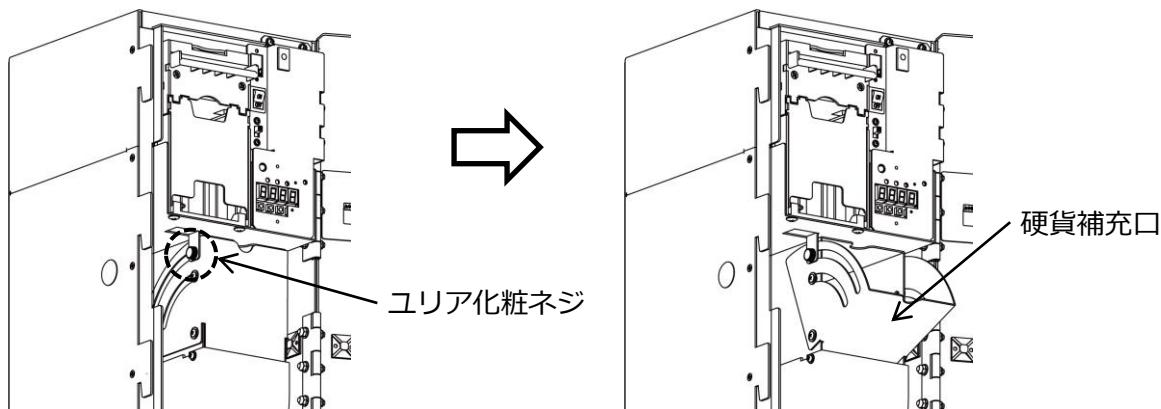
8-4 硬貨の補充

前面扉を開け、電源を OFF にしてください。

※本機は 100 円硬貨専用です。

100 円硬貨以外の硬貨、および変形硬貨を入れないでください。

1. 硬貨払出機横のユリア化粧ネジを緩めてから硬貨補充口を開け、硬貨を入れてください。



2. 電源を ON にして、エラーが出ない事を確認してください。

・正常に補充できた場合



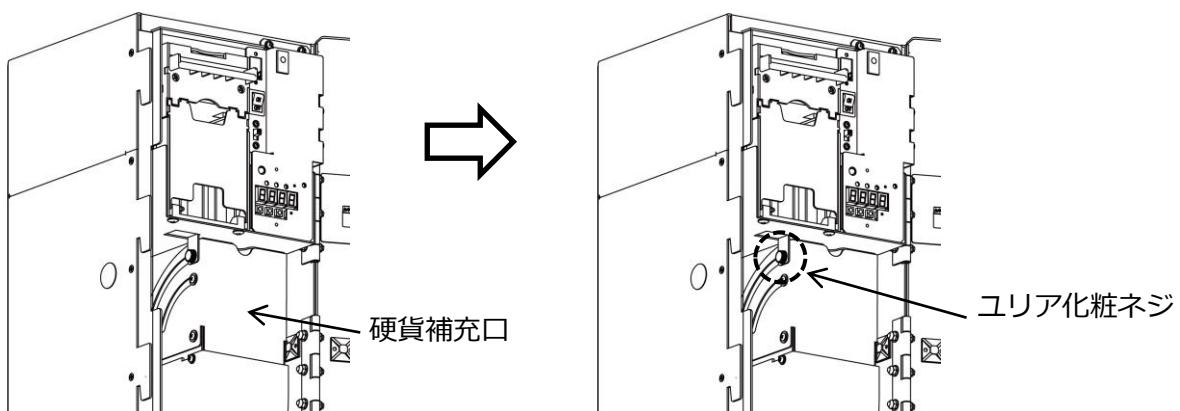
・正常に補充できていない場合



※目安として 200 枚以上の硬貨を入れてください。

※硬貨払い出し機内の硬貨が偏らないようにしてください。

3. 硬貨補充口を閉め、硬貨払出機横のユリア化粧ネジを締めてください。

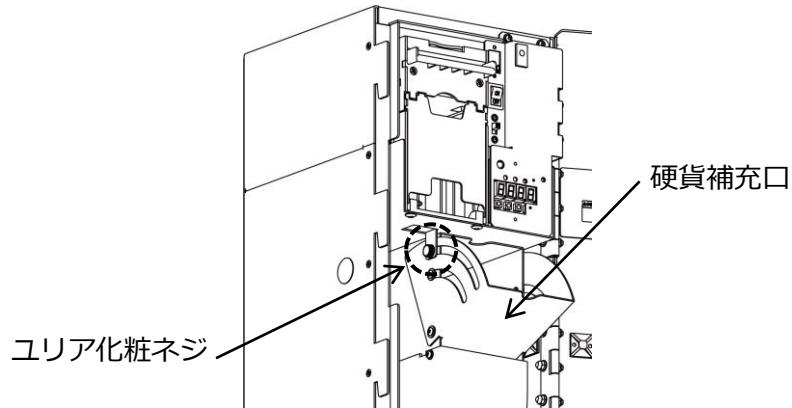


8-5 硬貨払い出し機の詰まり硬貨除去

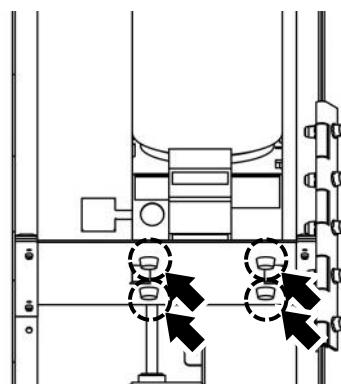
硬貨払い出し機内のキャリングディスクに硬貨が詰まった場合は、以下の方法で詰まり硬貨を取り出します。

●モーターノブを使用する方法

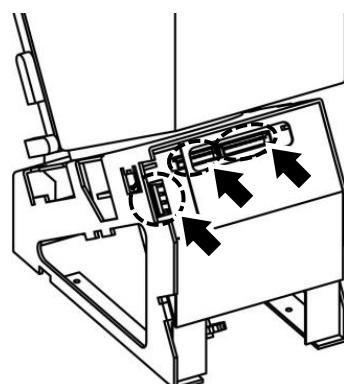
1. 硬貨補充口を開けて、ユリア化粧ネジを外します。



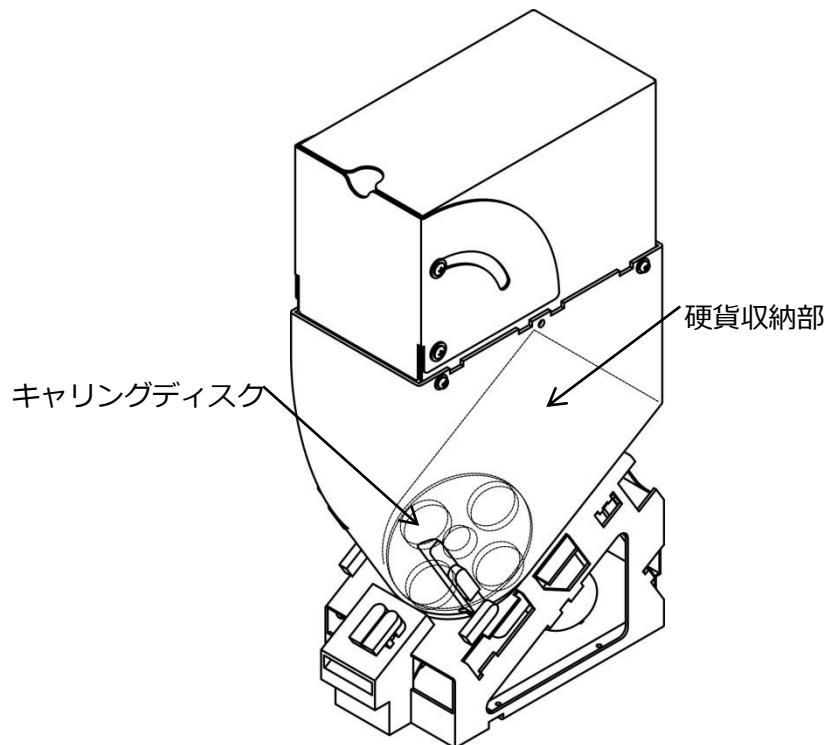
2. 硬貨払い出し機底面の固定しているネジ 4ヶ所を外します。



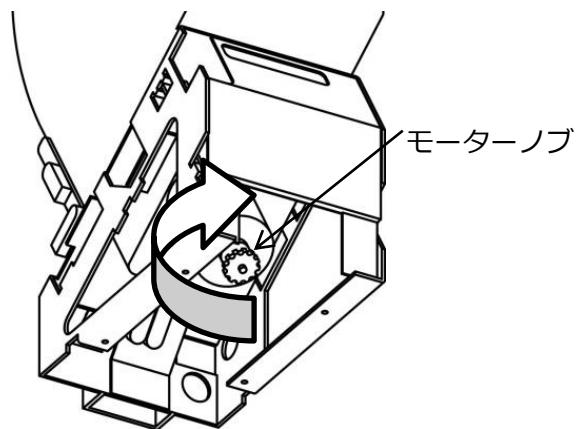
3. 硬貨払出機を引き出し、後部に接続している線を外します。



4. 硬貨収納部内の硬貨を取り出します。硬貨を取り出した後に、詰まり硬貨がキャリングディスクの穴内にある事を確認してください。

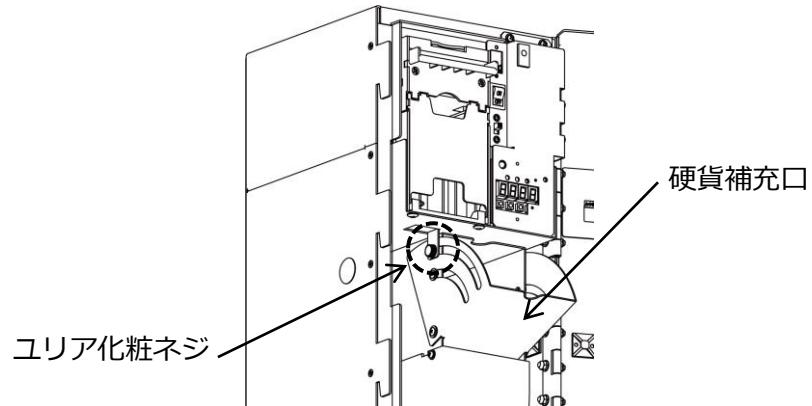


5. 硬貨払出機底側のモーターノブを時計回りに回し、詰まり硬貨を解除してください。

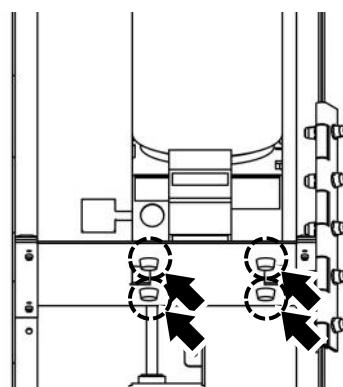


●硬貨収納部を取り外す方法

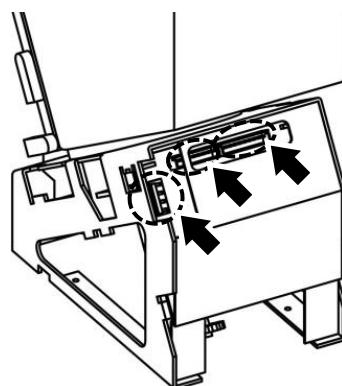
1. 硬貨補充口を開けて、ユリア化粧ネジを外します。



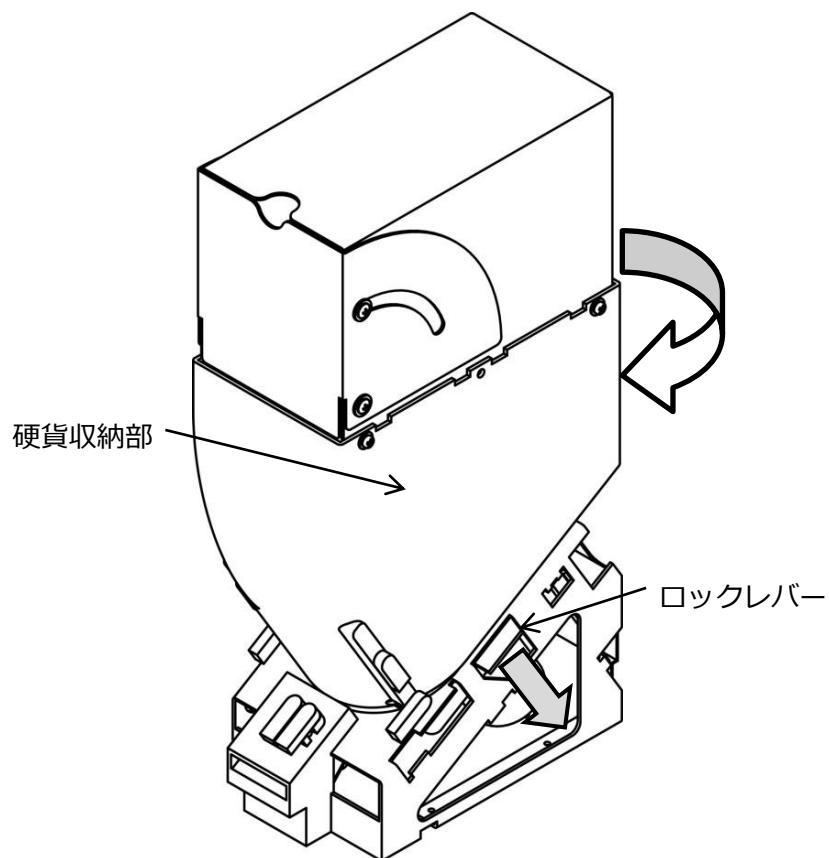
2. 硬貨払出機底面の固定しているネジ 4ヶ所を外します。



3. 硬貨払出機を引き出し、後部に接続している線を外します。

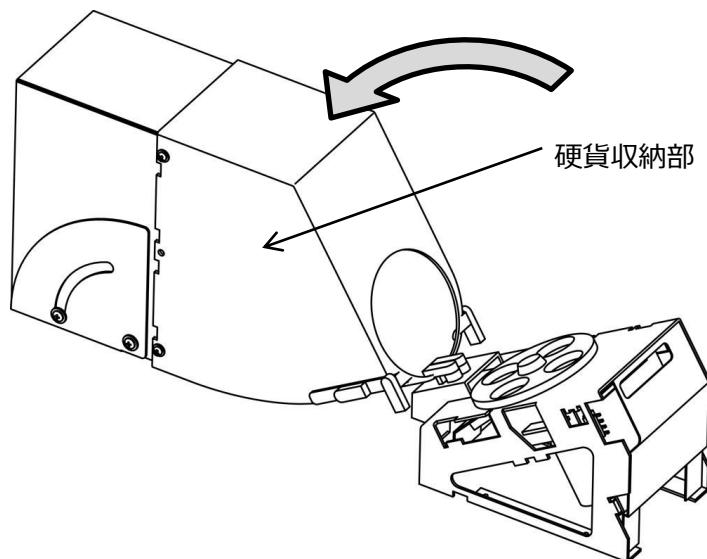


4. 硬貨払出機側面にある緑色のロックレバーを下げるながら、硬貨収納部を右方向に回します。



5. 硬貨払出機前方向に硬貨収納部を倒して、詰まり硬貨を取り除いてください。

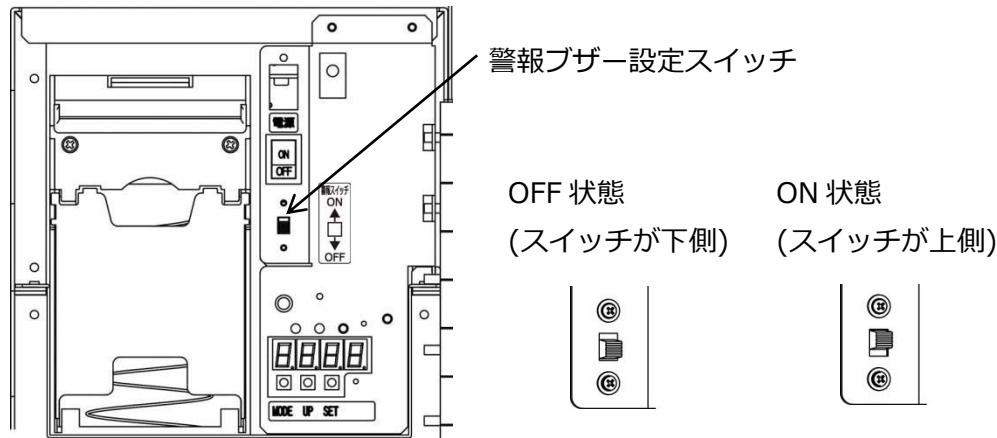
各センサーの線を引っ張りすぎないように注意し、取り外しは行わないでください。



9 警報ブザー

9-1 警報ブザーの動作

1. 警報ブザー設定スイッチが ON の状態で動作します。警報ブザーを止める場合は警報ブザー設定スイッチを OFF にしてください。



2. 警報ブザーが鳴る要因としては以下の 3 つがあります。

- ・電源プラグが引き抜かれた場合
- ・停電が発生した場合
- ・前面扉が不正に開いた場合

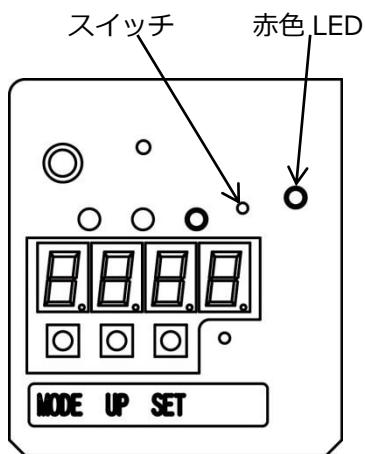
3. 警報ブザー設定スイッチを OFF にした場合、警報ブザーは停止します。停止中に警報ブザーが鳴る要因を解除してください。

警報ブザーが鳴る要因	解除方法
電源プラグが引き抜かれた場合	電源プラグをコンセントに差し込む。
停電が発生した場合	停電が復旧する。
前面扉が不正に開いた場合	警報ブザー設定スイッチを入れ直す。

9-2 警報ブザーの電池

●電池残量の確認

電池交換の目安としてバッテリーチェックスイッチが搭載されています。スイッチを押して赤色LEDの発光が暗く感じたら電池を交換してください。



(注)警報ブザー用電池は、1年ごとに交換してください。

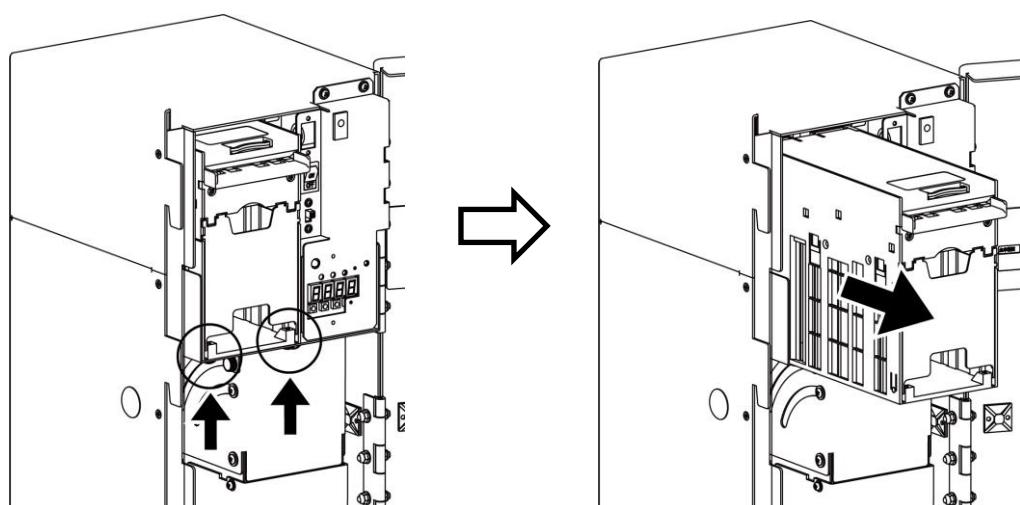
電池の品名：マンガン乾電池(積層形)

電池の型式：006P形

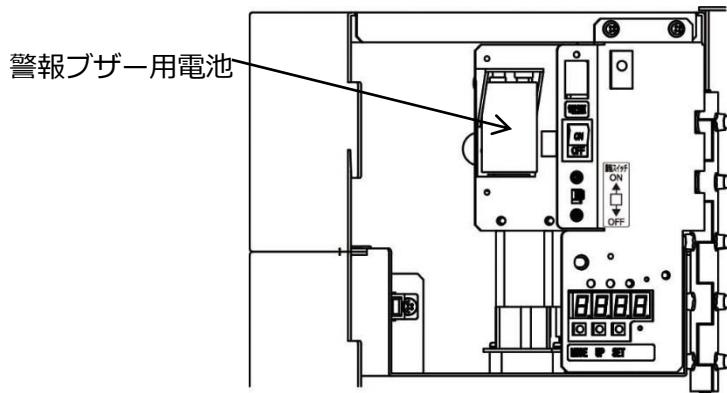
電池の電圧：9V形

電池の交換の際は安全のため電源スイッチをOFFにして、コンセントを抜いてから交換してください。

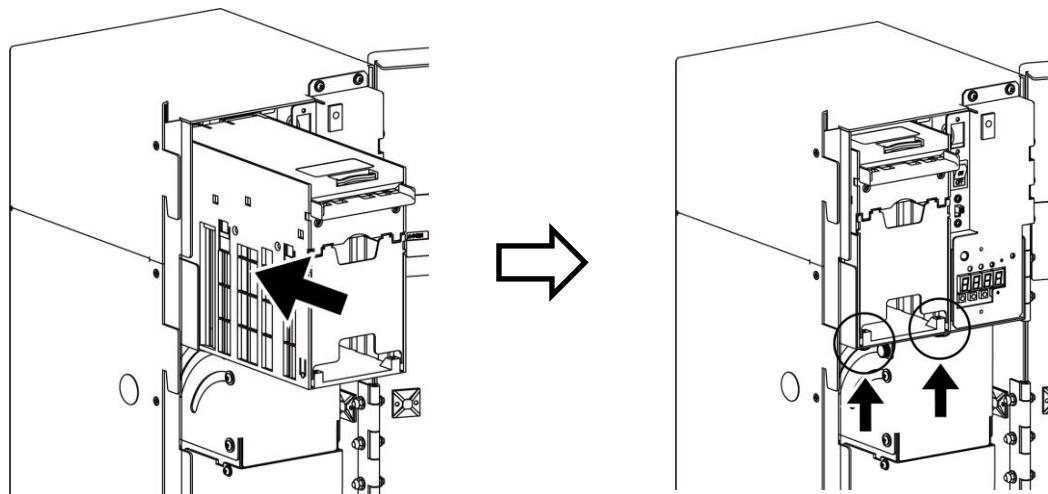
1. 紙幣識別機を固定している2ヶ所のネジを外し、引き出します。



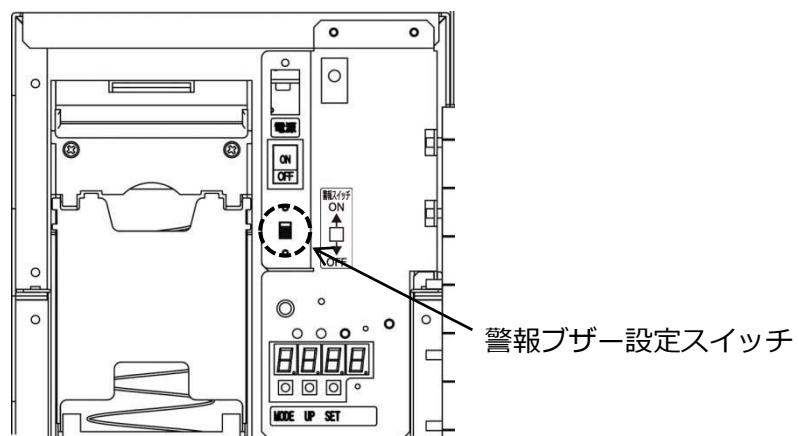
2. 電池ボックスに警報ブザー用電池を取り付け、または交換します。



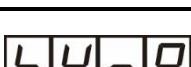
3. 紙幣識別機を元の位置に戻し、ネジで 2 ケ所固定します。



4. 警報ブザー設定スイッチを上側の ON 状態にして、警報ブザーを有効にしてください。



10 エラー表示一覧

エラーコード	エラーネーム	エラー要因
	紙幣満タン	紙幣を回収してください。
	紙幣詰まり 紙幣識別機上蓋開き	紙幣詰まりがないか、紙幣識別機の上蓋が完全に閉まっているか確認してください。
	引き抜き異常	紙幣収金動作中に紙幣の逆流を検知した場合にエラーとなります。 電源の再投入で復帰します。
	モーターパルス異常	電源投入時、モーターに異常があった場合にエラーとなります。 電源の再投入で復帰します。
	キャリア SW 異常	紙幣を金庫に収納する際に異常が発生した場合にエラーとなります。 電源の再投入で復帰します。
	前面パネル開き	「9-1 警報ブザーの動作」を参照して、本機の状態を確認してください。
	硬貨払出機異常	硬貨払出機を点検してください。
	硬貨切れ	硬貨払出機に硬貨を補充してください。
	紙幣識別機コネクタ抜け	紙幣識別機のコネクタが抜けていないか確認してください。
	硬貨払出機コネクタ抜け	硬貨払出機のコネクタが抜けていないか確認してください。
	システム異常	販売店まで連絡してください。

※紙幣詰まり、センサー異常等が発生した場合[E-11]が表示されますが、この場合はエラー要因を取り除くと自動復帰します。

※モーターパルス異常、キャリア SW 異常、引き抜き異常が発生した場合も[E-11]が表示されますが、この場合は、エラー要因を取り除いても自動復帰しません。電源の再投入をお願いします。

※硬貨払出機異常[E-50]は、エラー要因を取り除き、電源の再投入で復帰します。

※上記以外のエラーは、エラー要因を取り除くと自動的に復帰します。

※上記の方法を行っても復旧しない場合は、販売店まで連絡お願い致します。

11 製品仕様

項目	内容
対応金種	1000 円紙幣
硬貨収納枚数	100 円硬貨:1500 枚
紙幣収納枚数	480 ⁺¹²⁰ ₋₀ 枚 (官封紙幣) ただし、流通紙幣の場合、収納枚数が減少する事があります。
表示	4 術数値表示器:7 セグメント LED 両替中ランプ:青 LED 両替中止ランプ:赤 LED
カウンタ	・両替回数カウンタ、紙幣カウンタ、外部パルス入力払出カウンタ ※トータルカウンタ:リセットなし 4 術 期間カウンタ:リセットあり 3 術 ・両替枚数カウンタ ※トータルカウンタ:リセットなし 6 術 期間カウンタ:リセットあり 4 術
両替能力	1000 円紙幣:100 円硬貨×10 枚
外部パルス	1 パルスにつき 100 円硬貨払い出し A 接点入力、または B 接点入力 入力幅:50~500ms
警報ブザー	コンセント引き抜き時、および前面扉こじ開け時
時計精度	月差 60 秒以内(常温時)
停電保証	停電後 1 週間(フル充電状態にて)
使用環境	屋内専用 温度 5~45°C 湿度 30~90%(結露、結氷なき事)
設置方法	自立式(アンカーボルト固定)
外形寸法	本体 190mm(W)×640mm(H)×220mm(D) ^{※1} 架台 190mm(W)×660mm(H)×220mm(D) 台座 530mm(W)×400mm(D)
重量	本体 約 14kg 架台(台座含む) 約 12kg
電源	AC100V 50/60Hz
電源変動許容範囲	AC100V±10V
消費電力	待機時 8.5W 動作時 32W
絶縁抵抗	DC500V、50MΩ以上
耐電圧	AC1000V/1 分間(充電部-非充電部)
静電気耐力	8KV 以上(IEC 61000-4-2 準拠)
耐ノイズ	モード ノーマルモード、コモンモード パルス幅 1 μSec パルス高 ±1200V 位相 0~360° 3 分間重畠し誤動作なき事

※1 突起部分は含みません。

12 保証規定

当社製品をご注文いただく際、見積書、契約書、仕様書などに特記事項のない場合には、次の保証内容、免責事項、適合用途の条件等を適用いたします。下記内容をご確認いただき、ご承認のうえご注文をお願い致します。

1) 保証内容

– 保証期間

当社製品の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後 1 年といたします。

– 保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により当社製品に故障を生じた場合は、代替品の提供、または故障品の修理対応を、当社社内において無償で実施いたします。

ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。

a) 取扱説明書または仕様書などに記載されている以外の条件・環境・取り扱い・使用方法による場合

b) 当社製品以外の原因の場合

c) 当社以外による改造または修理による場合

d) 当社製品本来の使い方以外の使用による場合

e) その他、天災、災害など当社側の責ではない原因による場合

なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

2) 責任の制限

当社製品に起因して生じた特別損害、間接損害、または消極損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

プログラミング可能な当社製品については当社以外の者が行ったプログラム、またはそれにより生じた結果について当社は責任を負いません。

3) サービスの範囲

当社製品の価格には、技術者派遣などのサービス費用は含まれておりません。

お客様のご要望がございましたら、当社営業担当者までご相談ください。

4) 適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

日本国外での取引、および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

以上